

長期ビジョン策定に向けた 小・中学生アンケート調査 報告書

調査項目

1. 市への定住意識に関すること
2. 市の将来に関すること

令和3年（2021年）

八王子市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査項目	3
4. 回答者数	3
5. 報告書の見方	3
II 回答者の属性	5
1. 小学生	7
2. 中学生	7
III 調査結果	9
1. 市への定住意識に関すること	11
(1) 定住の意思	11
(2) 住みたいと思う理由	12
(3) 住み続けたくないと思う理由	13
2. 市の将来に関すること	14
(1) 地域共生社会の実現への期待	14
(2) ダイバーシティの実現への期待	16
(3) ワーク・ライフ・バランスの向上への期待	18
(4) 時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透への期待	20
(5) 健康寿命延伸の実現への期待	22
(6) インバウンド（訪日外国人旅行）の増加への期待	24
(7) 将来に向けた取組（小学生）	26
(8) 将来に向けた取組（中学生）	30
IV 参考資料	35
調査票	37

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市立の小学校4年生～6年生、中学生及び義務教育学校4年生～9年生から、将来に関する認識、考えを把握し、「長期ビジョン」の策定に向けた議論の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査対象：市立の小学校4年生～6年生、中学生及び義務教育学校4年生～9年生の児童・生徒
- (2) 調査方法：GIGA スクール構想で配付したタブレット端末による Web アンケート
- (3) 調査期間：令和3年（2021年）6月28日～7月21日
- (4) 調査機関：八王子市 未来デザイン室

3. 調査項目

- (1) 市への定住意識に関すること
- (2) 市の将来に関すること

4. 回答者数

対象者数：26,773人（令和3年（2021年）4月1日時点）

内訳 小学校4年生～6年生及び義務教育学校4年生～6年生：13,665人

中学生及び義務教育学校7年生～9年生：13,108人

回答者数：15,099人（回答率56.4%）

内訳 小学校4年生～6年生及び義務教育学校4年生～6年生：7,038人（回答率51.5%）

中学生及び義務教育学校7年生～9年生：8,061人（回答率61.5%）

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、n（件数）として表示した。その比率はn（件数）を100%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 調査分析の結果においては、n（件数）が30件を下回る場合には、参考値とみなし該当属性に対するコメントは控えている。
- (6) 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1%～40.9%	41.0%～43.9%	44.0%～45.9%	46.0%～48.9%	49.0%～49.9%

- (7) 質問における選択肢を結合し、《 》を用いて記述している場合がある。なお、この場合の比率は、個々の選択肢の比率の単純合計である。

<例>「期待する」と「どちらかといえば期待する」を結合して《期待する》。

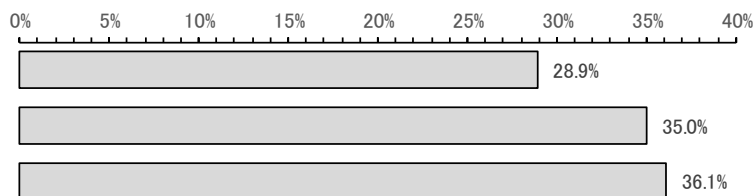
- (8) 以下、小学校4年生～6年生及び義務教育学校4年生～6年生を「小学生」、中学生及び義務教育学校7年生～9年生を「中学生」と表記する。

II 回答者の属性

1. 小学生

あなたの学年を教えてください

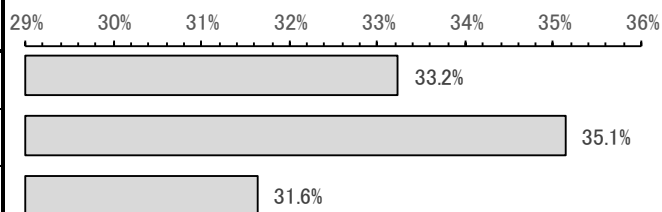
区分	基数 (人)	構成比 (%)
4年生	2,035	28.9%
5年生	2,463	35.0%
6年生	2,540	36.1%
合計	7,038	100.0%



2. 中学生

あなたの学年を教えてください

区分	基数 (人)	構成比 (%)
1年生(義務教育学校7年生)	2,679	33.2%
2年生(義務教育学校8年生)	2,832	35.1%
3年生(義務教育学校9年生)	2,550	31.6%
合計	8,061	100.0%

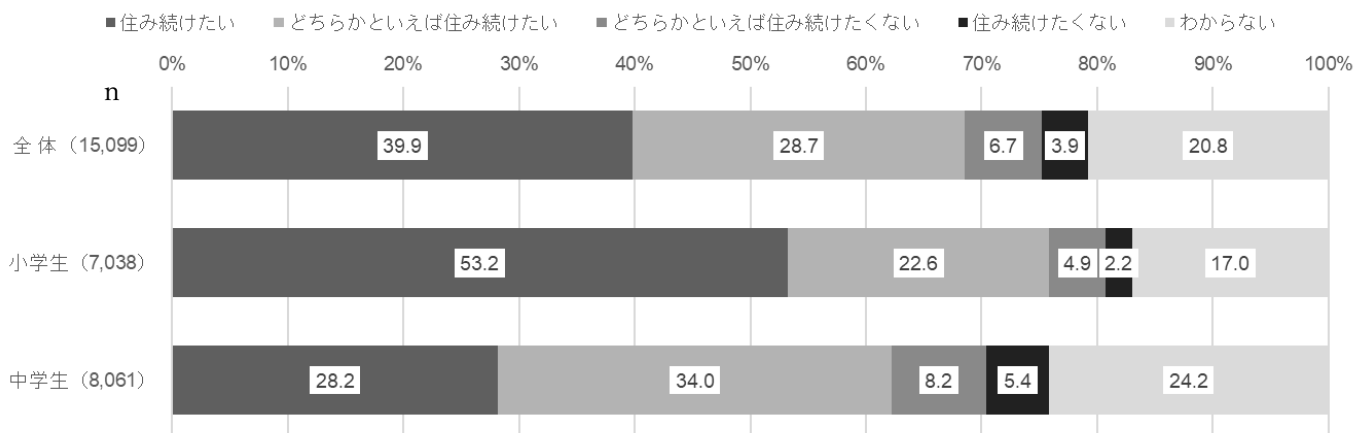


III 調査結果

1. 市への定住意識に関すること

(1) 定住の意思

あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

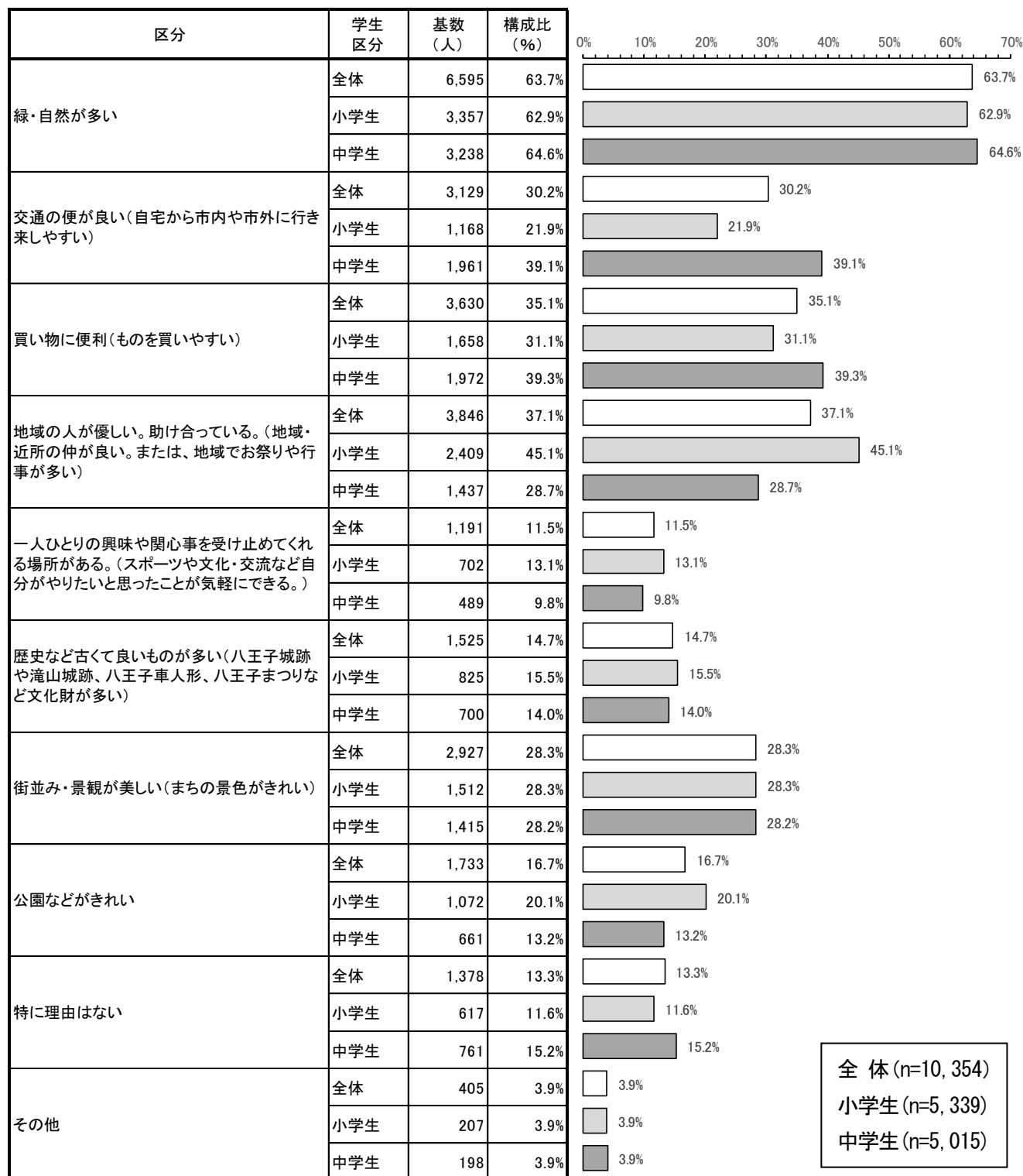


定住の意思について聞いたところ、「住み続けたい」(39.9%)と「どちらかといえば住み続けたい」(28.7%)を合わせた《住み続けたい》(68.6%)は7割近くとなっている。一方、「住み続けたくない」(3.9%)と「どちらかといえば住み続けたくない」(6.7%)を合わせた《住み続けたくない》(10.6%)は約1割となっている。

学生区分別にみると、《住み続けたい》は小学生(75.8%)が中学生(62.2%)より13.6ポイント高くなっている。

(2) 住みたいと思う理由

あなたが、八王子市に住みたいと思う理由はなんですか。あてはまるものを3つ選んでください。

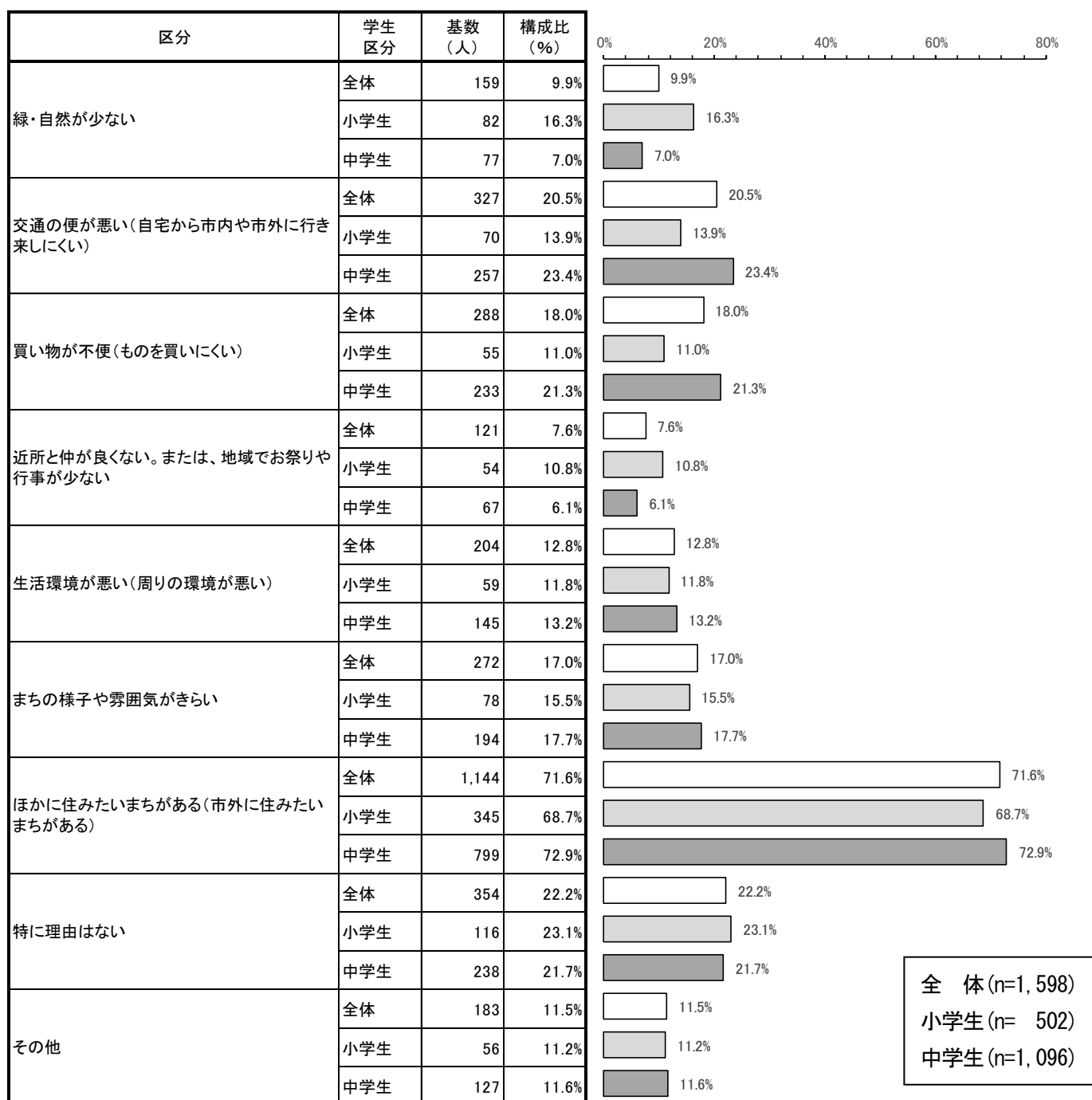


住みたい理由について聞いたところ、「緑・自然が多い」(63.7%)が最も高く6割強となっている。次いで「地域の人が優しい。助け合っている。(地域・近所の仲が良い。または、地域でお祭りや行事が多い)」(37.1%)、「買い物に便利(ものを買やすい)」(35.1%)、「交通の便が良い(自宅から市内や市外に行き来しやすい)」(30.2%)などの順となっている。

学生区分別にみると、小学生は「緑・自然が多い」(62.9%)、「地域の人が優しい。助け合っている。(地域・近所の仲が良い。または、地域でお祭りや行事が多い)」(45.1%)、「買い物に便利(ものを買やすい)」(31.1%)などの順となっているのに対し、中学生は「緑・自然が多い」(64.6%)、「買い物に便利(ものを買やすい)」(39.3%)、「交通の便が良い(自宅から市内や市外に行き来しやすい)」(39.1%)などの順となっている。

(3) 住み続けたくないと思う理由

あなたが、八王子市に住み続けたくないと思う理由はなんですか。あてはまるものを3つ選んでください。



住み続けたくないと思う理由を聞いたところ、「ほかに住みたいまちがある」(71.6%)が最も高く7割強となっている。次いで「特に理由はない」(22.2%)、「交通の便が悪い(自宅から市内や市外に行き来しにくい)」(20.5%)、「買い物不便(ものを買いくい)」(18.0%)、などの順となっている。

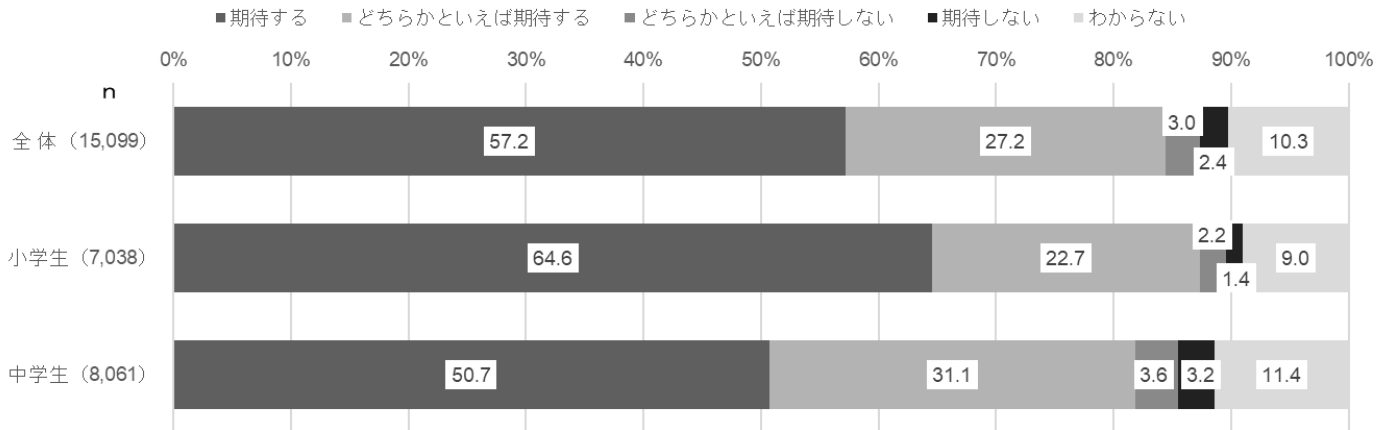
学生区分別にみると、小学生では「ほかに住みたいまちがある」(68.7%)、「特に理由はない」(23.1%)「緑・自然が少ない」(16.3%)などの順となっているのに対し、中学生は「ほかに住みたいまちがある」(72.9%)、「交通の便が悪い(自宅から市内や市外に行き来しにくい)」(23.4%)、「特に理由はない」(21.7%)などの順となっている。

2. 市の将来に関すること

あなたは、将来の八王子がどんなまちになればよいと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。

(1) 地域共生社会の実現への期待

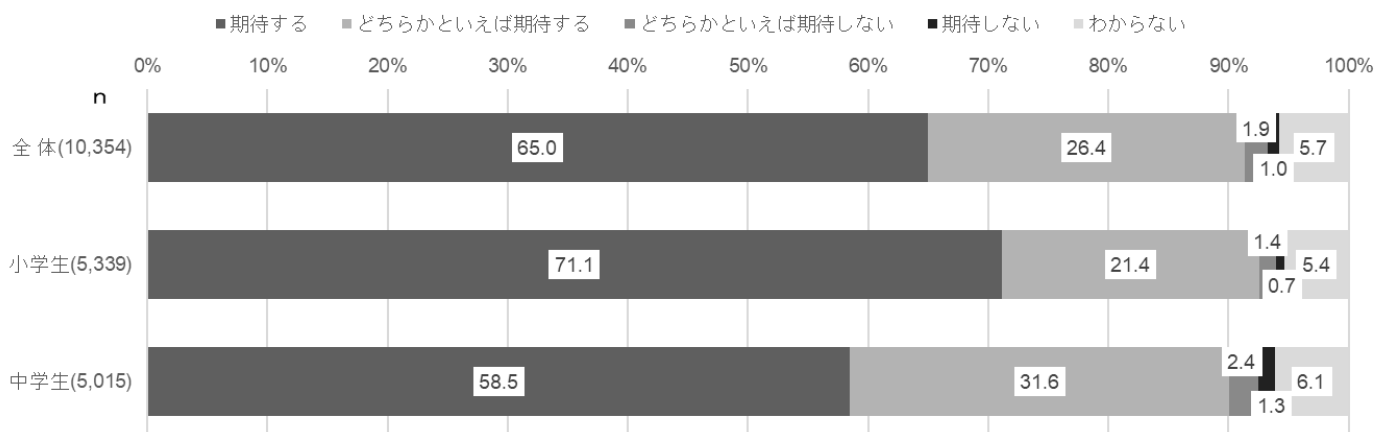
地域に住んでいるみんながつながり、協力し合えるまちになること（例：ご近所同士で助け合っている。）



地域共生社会の実現について聞いたところ、「期待する」(57.2%)と「どちらかといえば期待する」(27.2%)を合わせた《期待する》(84.4%)は8割台半ばとなっている。一方、「期待しない」(2.4%)と「どちらかといえば期待しない」(3.0%)を合わせた《期待しない》(5.4%)は1割を下回っている。

学生区分別にみると、《期待する》は小学生(87.3%)が中学生(81.8%)より5.5ポイント高くなっている。

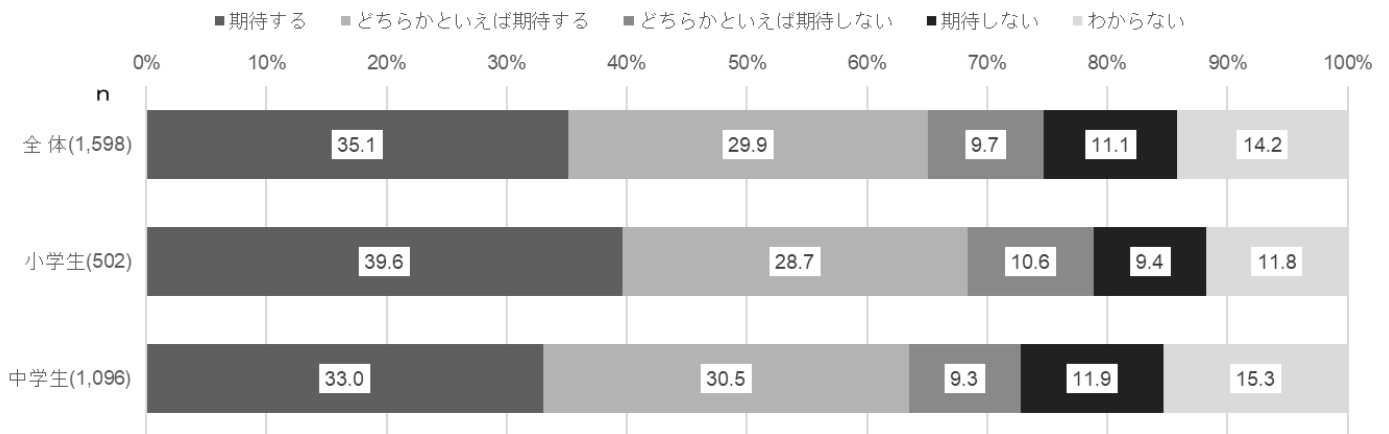
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



地域共生社会の実現について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」(65.0%)と「どちらかといえば期待する」(26.4%)を合わせた《期待する》(91.4%)は9割強となっており、全回答者から見た《期待する》(84.4%)より7.0ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

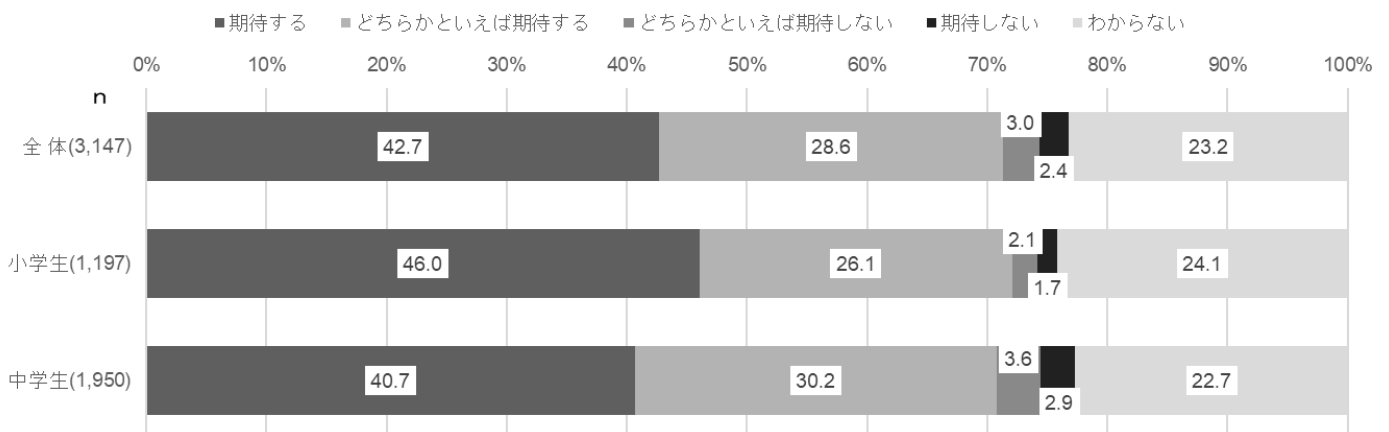


地域共生社会の実現について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」(35.1%)と「どちらかといえば期待する」(29.9%)を合わせた《期待する》(65.0%)は6割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待する》(84.4%)より19.4ポイント低くなっている。

また、「期待しない」(11.1%)と「どちらかといえば期待しない」(9.7%)を合わせた《期待しない》(20.8%)は約2割となっており、全回答者から見た《期待しない》(5.4%)より15.4ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



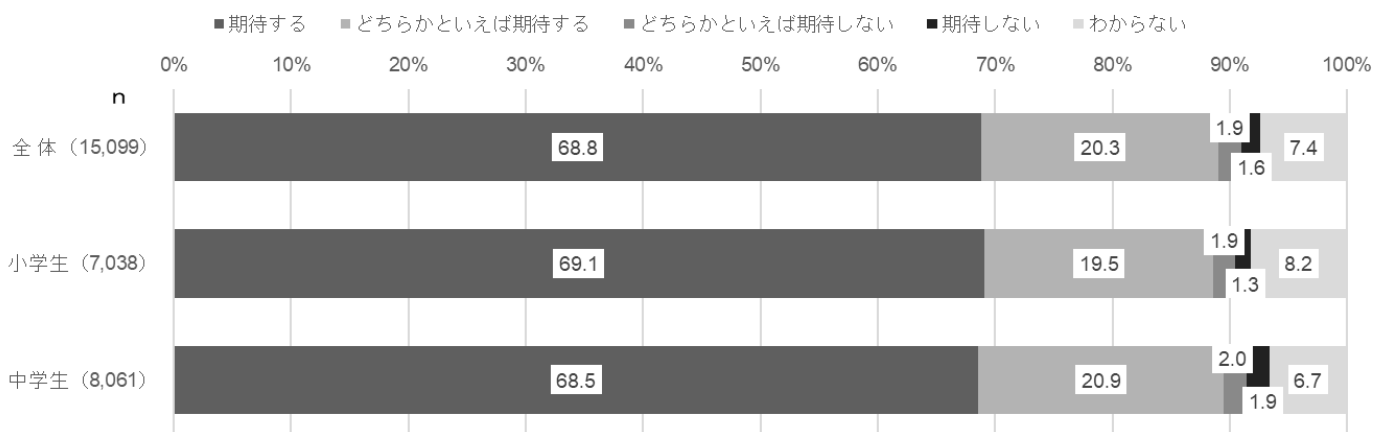
地域共生社会の実現について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」(42.7%)と「どちらかといえば期待する」(28.6%)を合わせた《期待する》(71.3%)は7割強となっており、全回答者から見た《期待する》(84.4%)より13.1ポイント低くなっている。

また、「わからない」(23.2%)は2割強となっており、全回答者から見た「わからない」(10.3%)より12.9ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

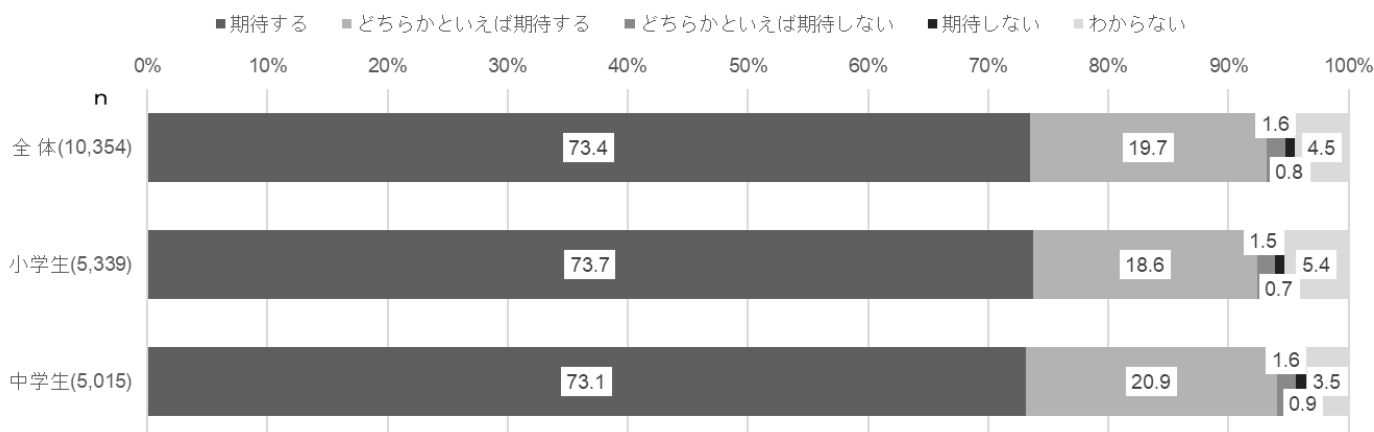
(2) ダイバーシティの実現への期待

性別、障害、出身国など多様性（違い）を認め合い、みんながいきいき活躍できるまちになること（例：身体が不自由な人でもやりたいことができる。）



ダイバーシティの実現について聞いたところ、「期待する」（68.8%）と「どちらかといえば期待する」（20.3%）を合わせた《期待する》（89.1%）は9割弱となっている。一方、「期待しない」（1.6%）と「どちらかといえば期待しない」（1.9%）を合わせた《期待しない》（3.5%）は1割を下回っている。学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

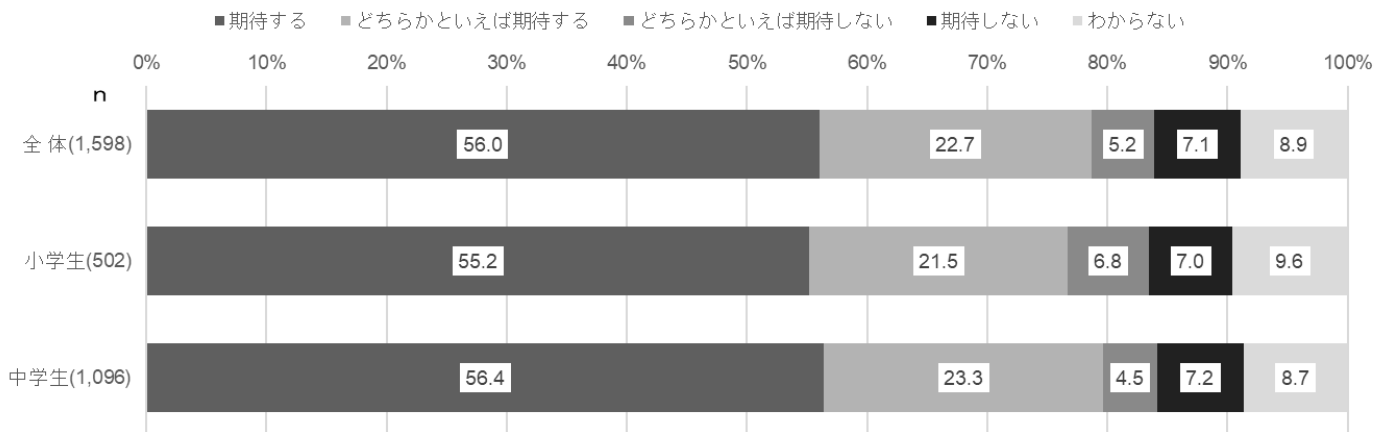
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



ダイバーシティの実現について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」（73.4%）と「どちらかといえば期待する」（19.7%）を合わせた《期待する》（93.1%）は9割強となっており、全回答者から見た《期待する》（89.1%）とほぼ同程度の割合となっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

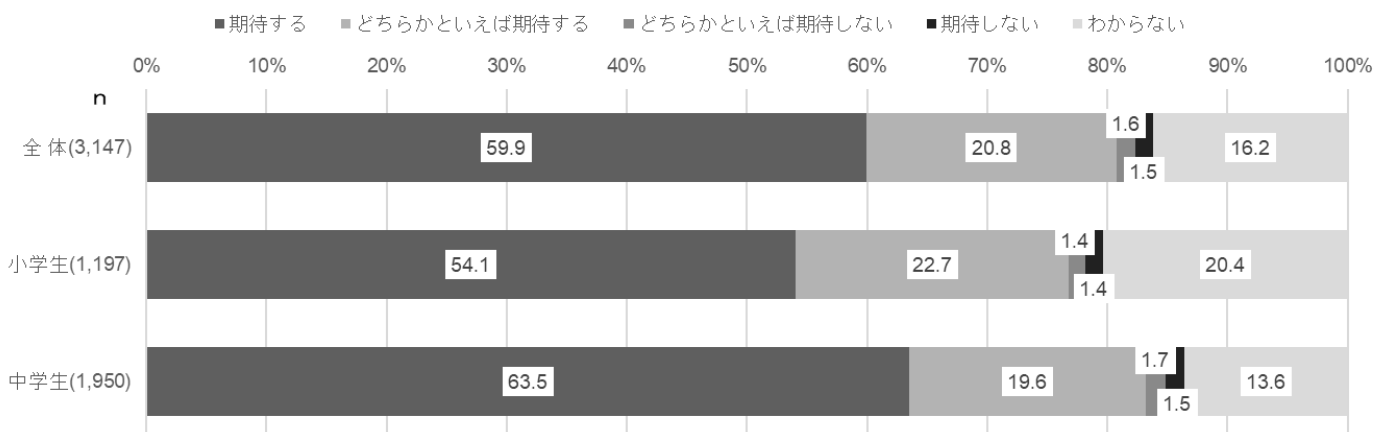


ダイバーシティの実現について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」(56.0%)と「どちらかといえば期待する」(22.7%)を合わせた《期待する》(78.7%)は8割近くとなっており、全回答者から見た《期待する》(89.1%)より10.4ポイント低くなっている。

また、「期待しない」(7.1%)と「どちらかといえば期待しない」(5.2%)を合わせた《期待しない》(12.3%)は1割強となっており、全回答者から見た《期待しない》(3.5%)より8.8ポイント高くなっている。

学生区別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



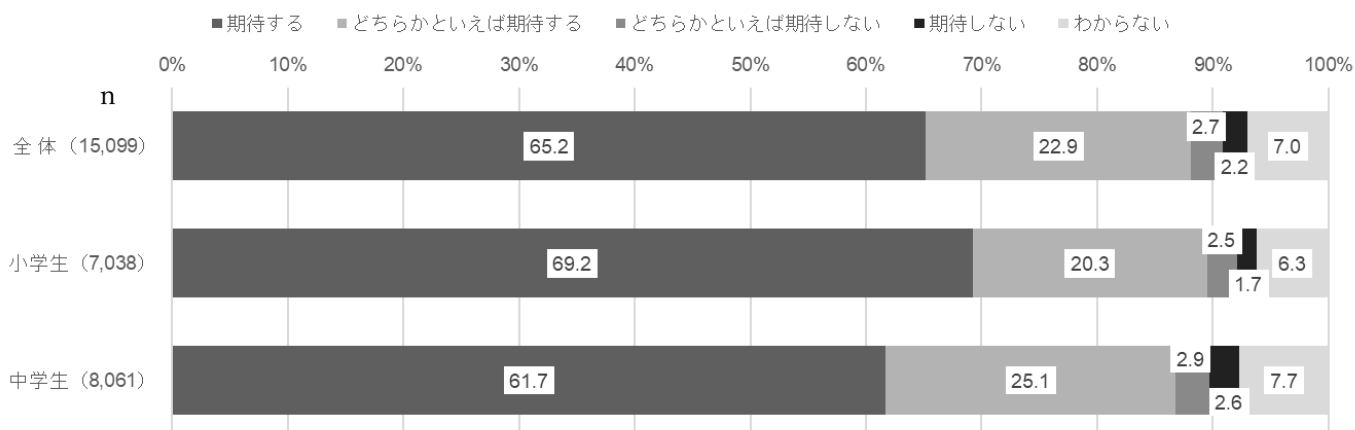
ダイバーシティの実現について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」(59.9%)と「どちらかといえば期待する」(20.8%)を合わせた《期待する》(80.7%)は約8割となっており、全回答者から見た《期待する》(89.1%)より8.4ポイント低くなっている。

また、「わからない」(16.2%)は2割近くとなっており、全回答者から見た「わからない」(7.4%)より8.8ポイント高くなっている。

学生区別にみると、《期待する》は中学生(83.1%)が小学生(76.8%)より6.3ポイント高くなっている。

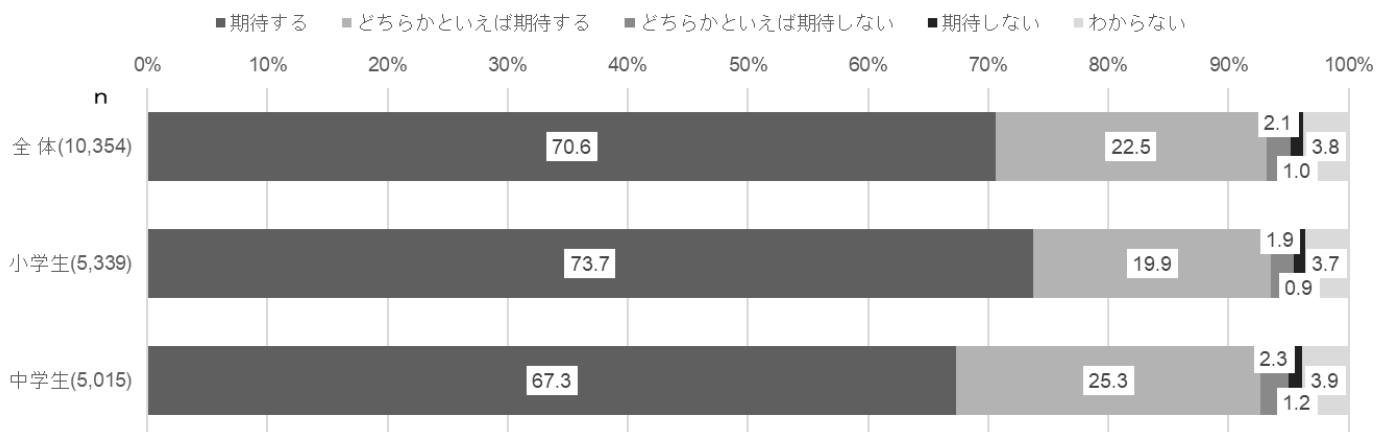
(3) ワーク・ライフ・バランスの向上への期待

家族と過ごす時間と働く時間のバランスが取れていること（例：親が自分の子どもと遊ぶなど、親子が触れ合える時間が多く取れる。）



ワーク・ライフ・バランスの向上について聞いたところ、「期待する」(65.2%)と「どちらかといえば期待する」(22.9%)を合わせた《期待する》(88.1%)は9割近くとなっている。一方、「期待しない」(2.2%)と「どちらかといえば期待しない」(2.7%)を合わせた《期待しない》(4.9%)は1割を下回っている。学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

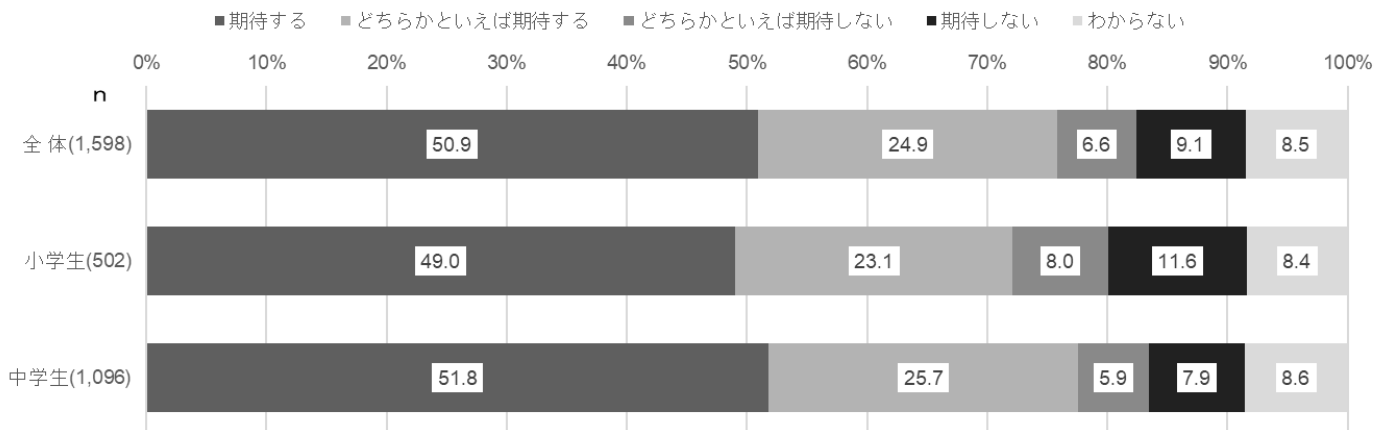
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



ワーク・ライフ・バランスの向上について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」(70.6%)と「どちらかといえば期待する」(22.5%)を合わせた《期待する》(93.1%)は9割強となっており、全回答者から見た《期待する》(88.1%)より5.0ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

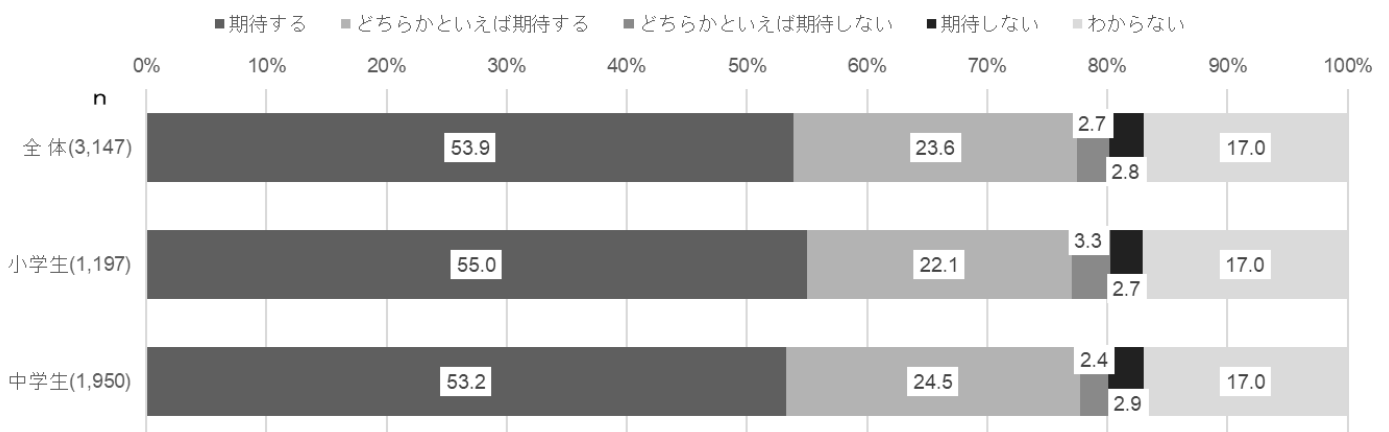


ワーク・ライフ・バランスの向上について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」(50.9%)と「どちらかといえば期待する」(24.9%)を合わせた《期待する》(75.8%)は7割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待する》(88.1%)より12.9ポイント低くなっている。

また、「期待しない」(9.1%)と「どちらかといえば期待しない」(6.6%)を合わせた《期待しない》(15.7%)は1割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待しない》(4.9%)より10.8ポイント高くなっている。

学生区別にみると、《期待する》は中学生(77.5%)が小学生(72.1%)より5.4ポイント高くなっている。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



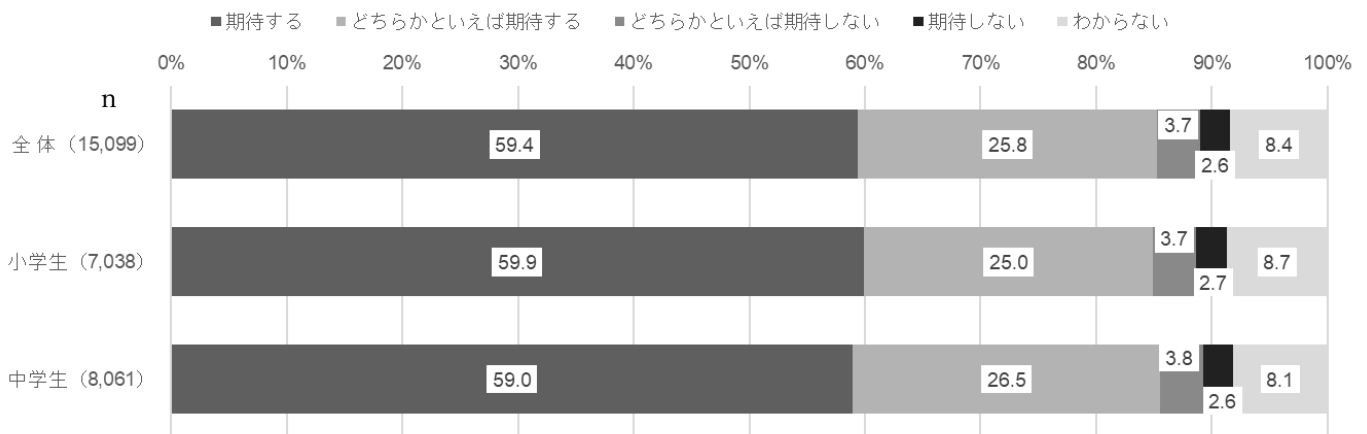
ワーク・ライフ・バランスの向上について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」(53.9%)と「どちらかといえば期待する」(23.6%)を合わせた《期待する》(77.5%)は8割近くとなっており、全回答者から見た《期待する》(88.1%)より10.6ポイント低くなっている。

また、「わからない」(17.0%)は2割近くとなっており、全回答者から見た「わからない」(7.0%)より10.0ポイント高くなっている。

学生区別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

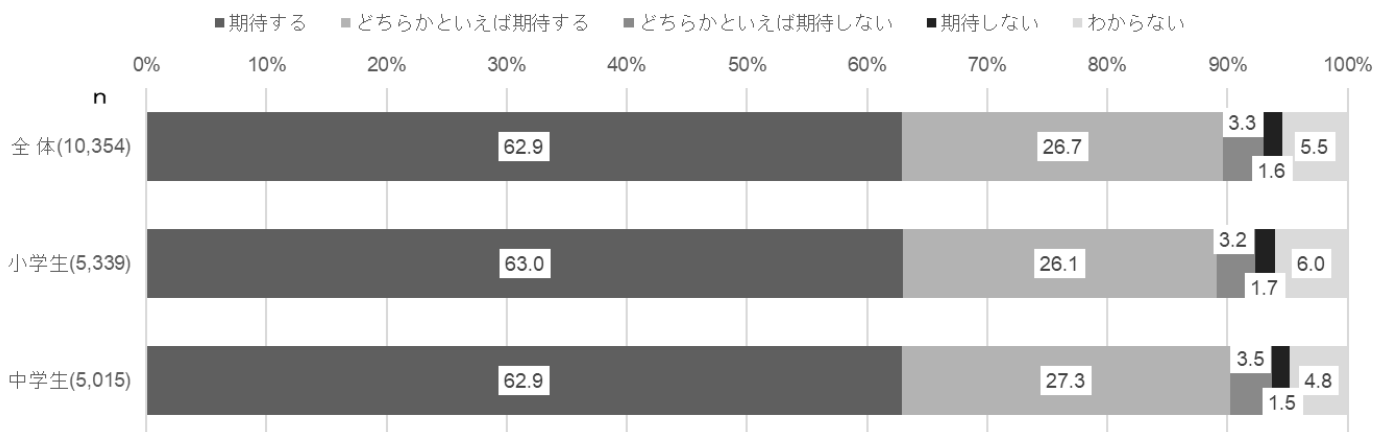
(4) 時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透への期待

時間や場所にとらわれない色々な働き方ができること（例：電車に乗って職場に行かなくても、家で仕事ができる。）



時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透について聞いたところ、「期待する」(59.4%)と「どちらかといえば期待する」(25.8%)を合わせた《期待する》(85.2%)は8割台半ばとなっている。一方、「期待しない」(2.6%)と「どちらかといえば期待しない」(3.7%)を合わせた《期待しない》(6.3%)は1割近くとなっている。学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

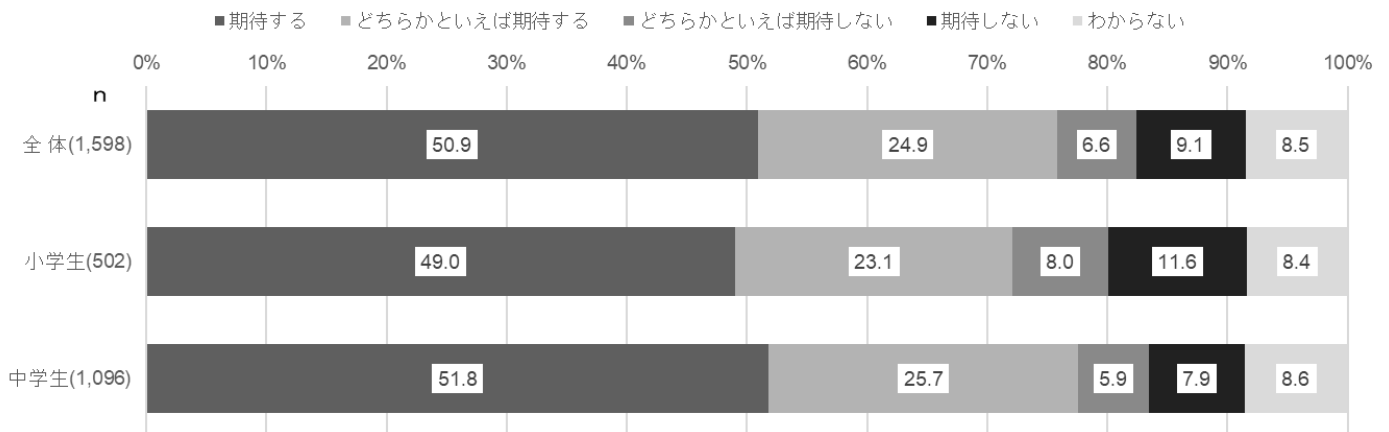
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」(62.9%)と「どちらかといえば期待する」(26.7%)を合わせた《期待する》(89.6%)は9割弱となっており、全回答者から見た《期待する》(85.2%)とほぼ同程度の割合となっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

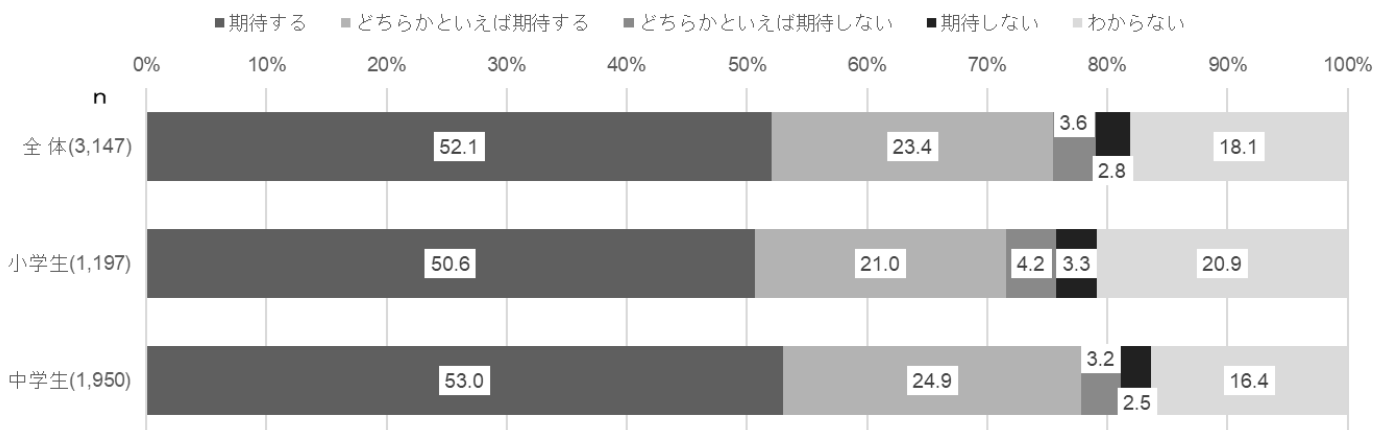


時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」(50.9%)と「どちらかといえば期待する」(24.9%)を合わせた《期待する》(75.8%)は7割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待する》(85.2%)より9.4ポイント低くなっている。

また、「期待しない」(9.1%)と「どちらかといえば期待しない」(6.6%)を合わせた《期待しない》(15.7%)は1割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待しない》(6.3%)より9.4ポイント高くなっている。

学生区別にみると、《期待する》は中学生(77.5%)が小学生(72.1%)より5.4ポイント高くなっている。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



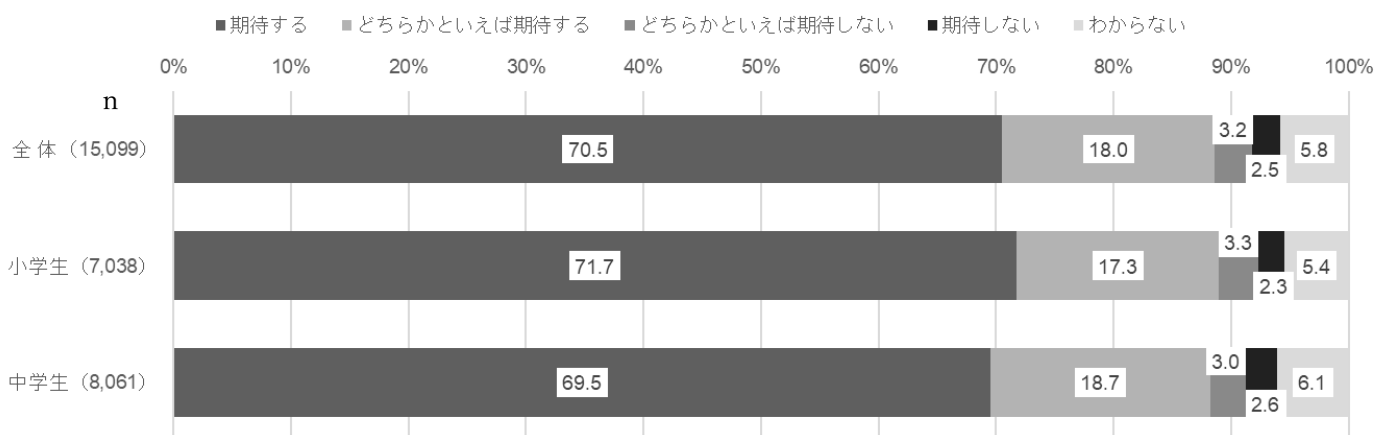
時間や場所にとらわれない多様な働き方の浸透について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」(52.1%)と「どちらかといえば期待する」(23.4%)を合わせた《期待する》(75.5%)は7割台半ばとなっており、全回答者から見た《期待する》(85.2%)より9.7ポイント低くなっている。

また、「わからない」(18.1%)は2割近くとなっており、全回答者から見た「わからない」(8.4%)より9.7ポイント高くなっている。

学生区別にみると、《期待する》は中学生(77.9%)が小学生(71.6%)より6.3ポイント高くなっている。

(5) 健康寿命延伸の実現への期待

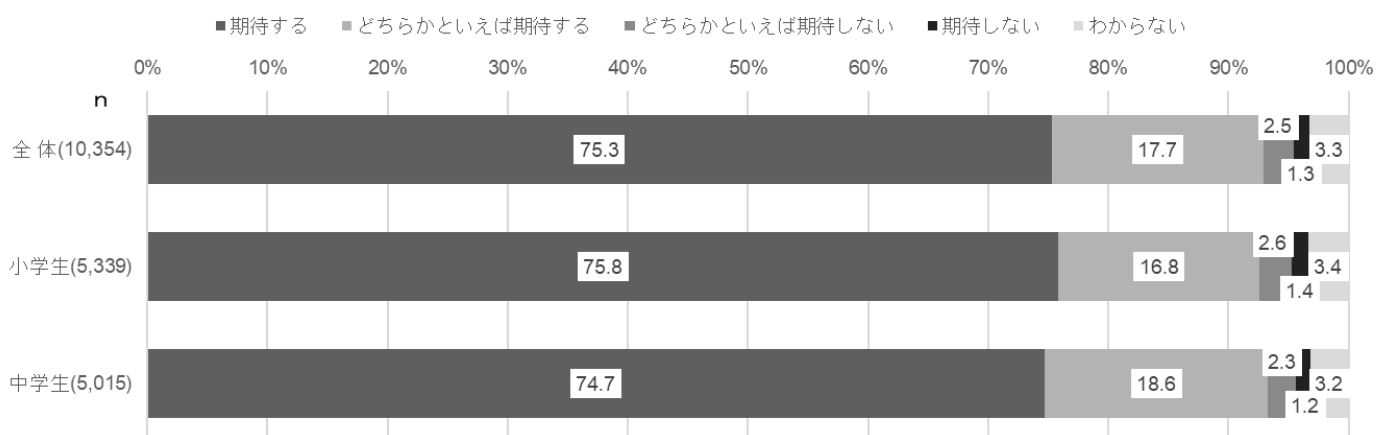
病気やケガがなく体も心もずっと健康で生活できること（例：お医者さんに行くことなく、元気であることができる。）



健康寿命延伸の実現について聞いたところ、「期待する」(70.5%)と「どちらかといえば期待する」(18.0%)を合わせた《期待する》(88.5%)は9割近くとなっている。一方、「期待しない」(2.5%)と「どちらかといえば期待しない」(3.2%)を合わせた《期待しない》(5.7%)は1割を下回っている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

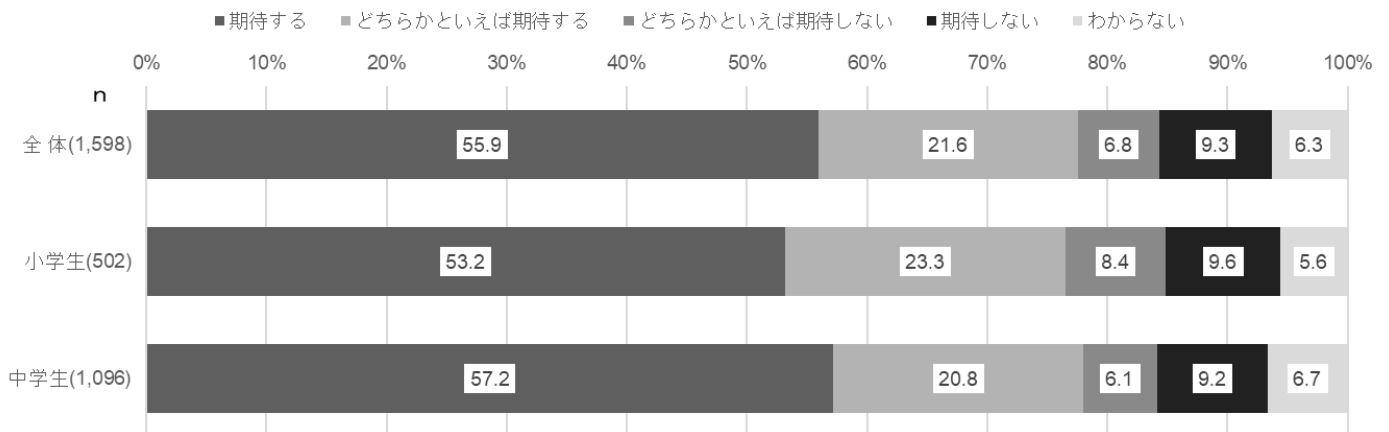
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



健康寿命延伸の実現について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」(75.3%)と「どちらかといえば期待する」(17.7%)を合わせた《期待する》(93.0%)は9割強となっており、全回答者から見た《期待する》(88.5%)とほぼ同程度の割合となっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

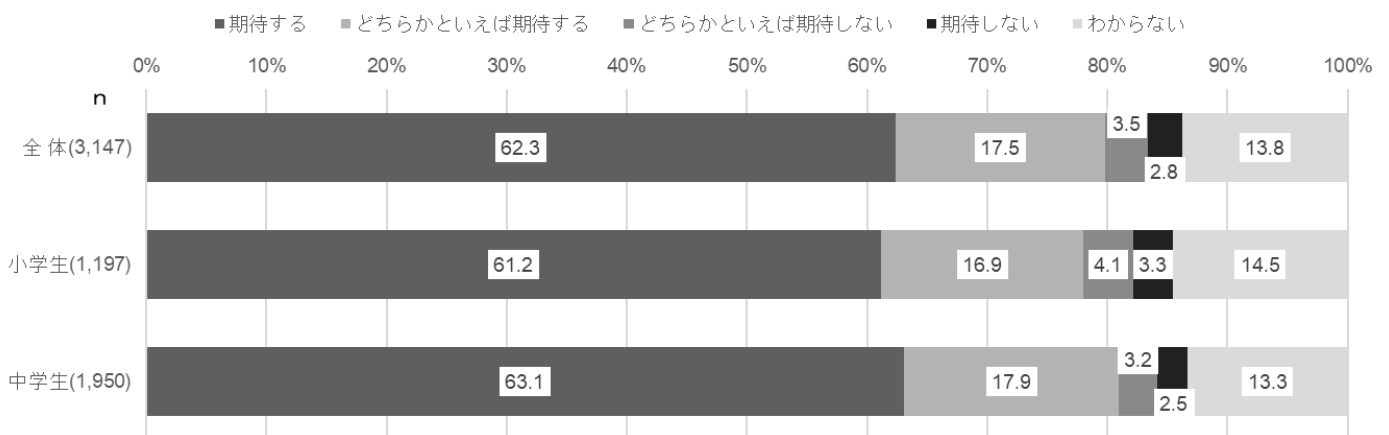


健康寿命延伸の実現について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」(55.9%)と「どちらかといえば期待する」(21.6%)を合わせた《期待する》(77.5%)は8割近くとなっており、全回答者から見た《期待する》(88.5%)より11.0ポイント低くなっている。

また、「期待しない」(9.3%)と「どちらかといえば期待しない」(6.8%)を合わせた《期待しない》(16.1%)は2割近くとなっており、全回答者から見た《期待しない》(5.7%)より10.4ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



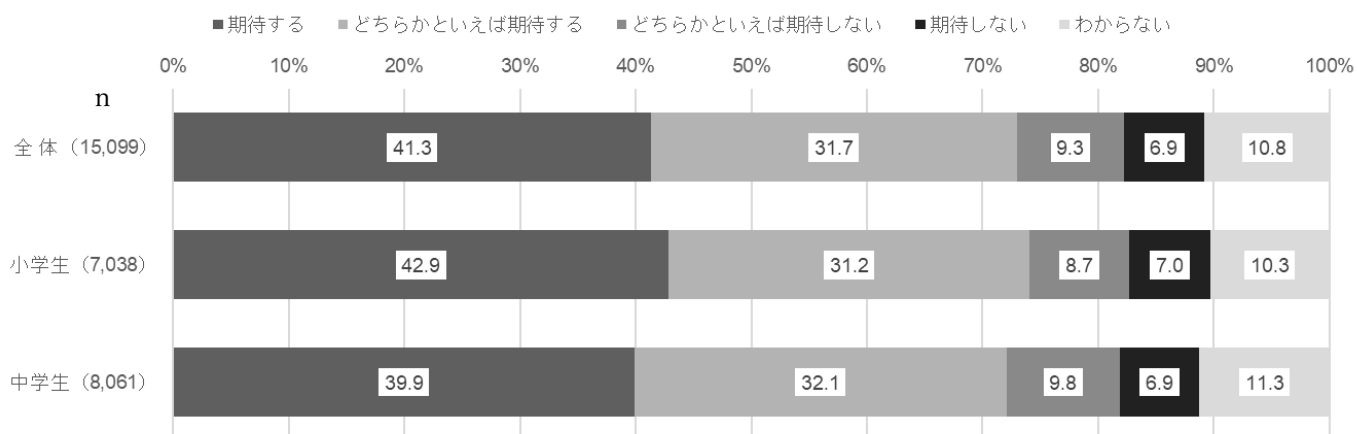
健康寿命延伸の実現について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」(62.3%)と「どちらかといえば期待する」(17.5%)を合わせた《期待する》(79.8%)は8割弱となっており、全回答者から見た《期待する》(88.5%)より8.7ポイント低くなっている。

また、「わからない」(13.8%)は1割強となっており、全回答者から見た「わからない」(5.8%)より8.0ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

(6) インバウンド（訪日外国人旅行）の増加への期待

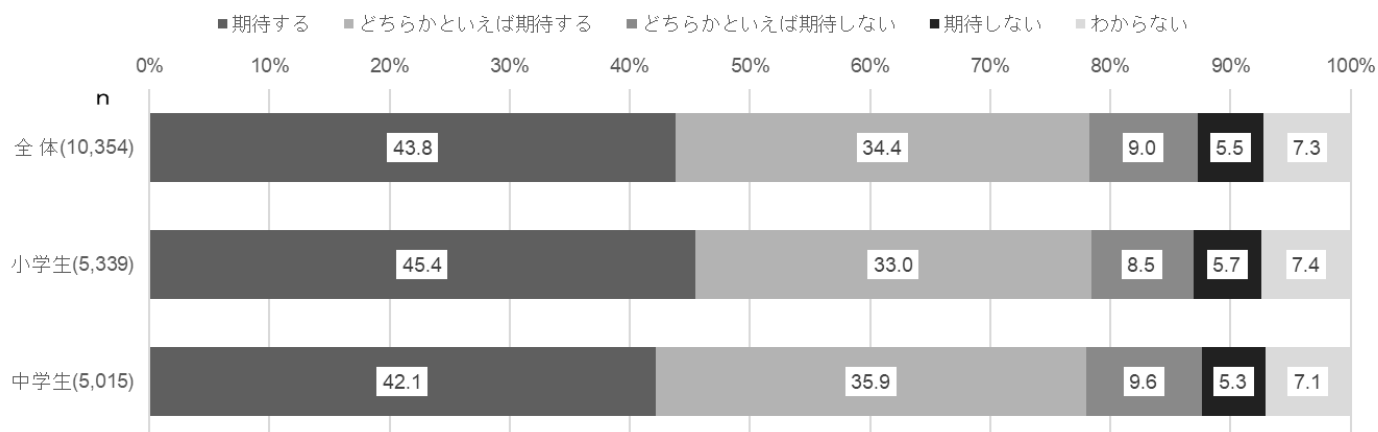
日本に来る外国人が増えること（例：日本に旅行に来る外国人が増え、日本を知ってもらったり、会話をしたりする機会が増える。）



インバウンド（訪日外国人旅行）の増加について聞いたところ、「期待する」（41.3%）と「どちらかといえば期待する」（31.7%）を合わせた《期待する》（73.0%）は7割強となっている。一方、「期待しない」（6.9%）と「どちらかといえば期待しない」（9.3%）を合わせた《期待しない》（16.2%）は2割近くとなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

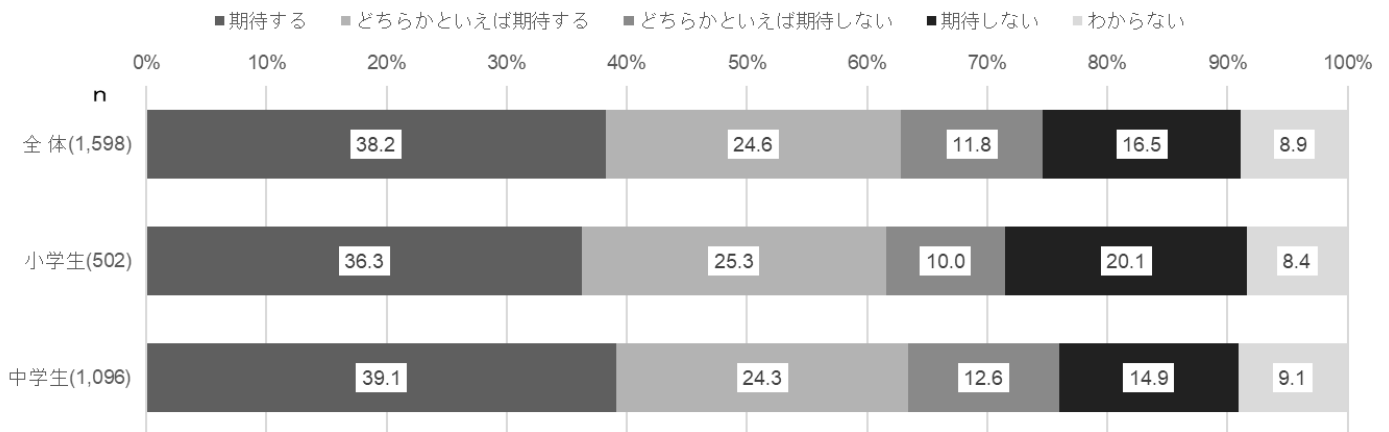
ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



インバウンド（訪日外国人旅行）の増加について、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「期待する」（43.8%）と「どちらかといえば期待する」（34.4%）を合わせた《期待する》（78.2%）は8割近くとなっており、全回答者から見た《期待する》（73.0%）とより5.2ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳

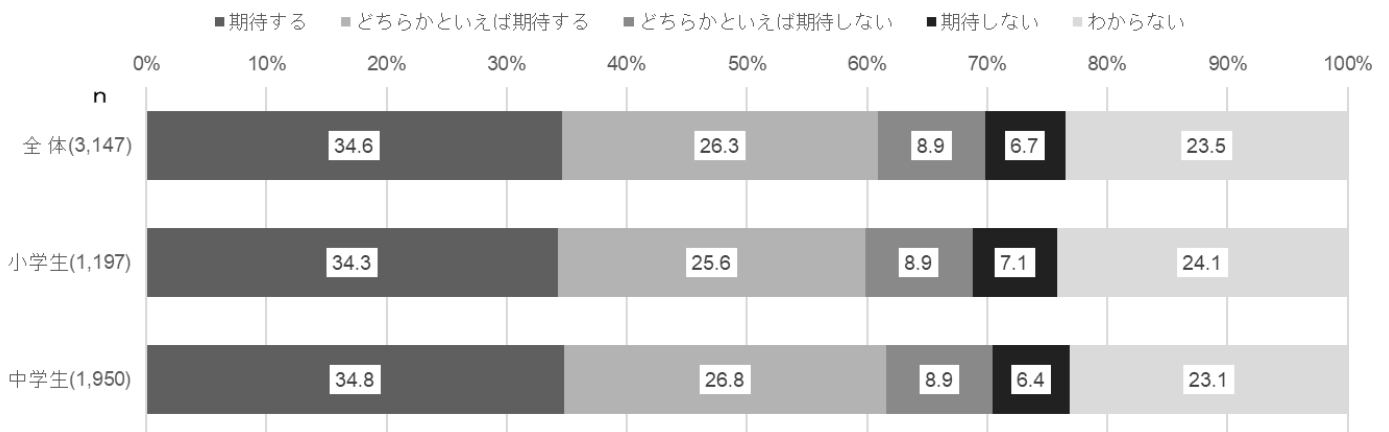


インバウンド（訪日外国人旅行）の増加について、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「期待する」（38.2%）と「どちらかといえば期待する」（24.6%）を合わせた《期待する》（62.8%）は6割強となっており、全回答者から見た《期待する》（73.0%）より10.2ポイント低くなっている。

また、「期待しない」（16.5%）と「どちらかといえば期待しない」（11.8%）を合わせた《期待しない》（28.3%）は3割近くとなっており、全回答者から見た《期待しない》（16.2%）より12.1ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



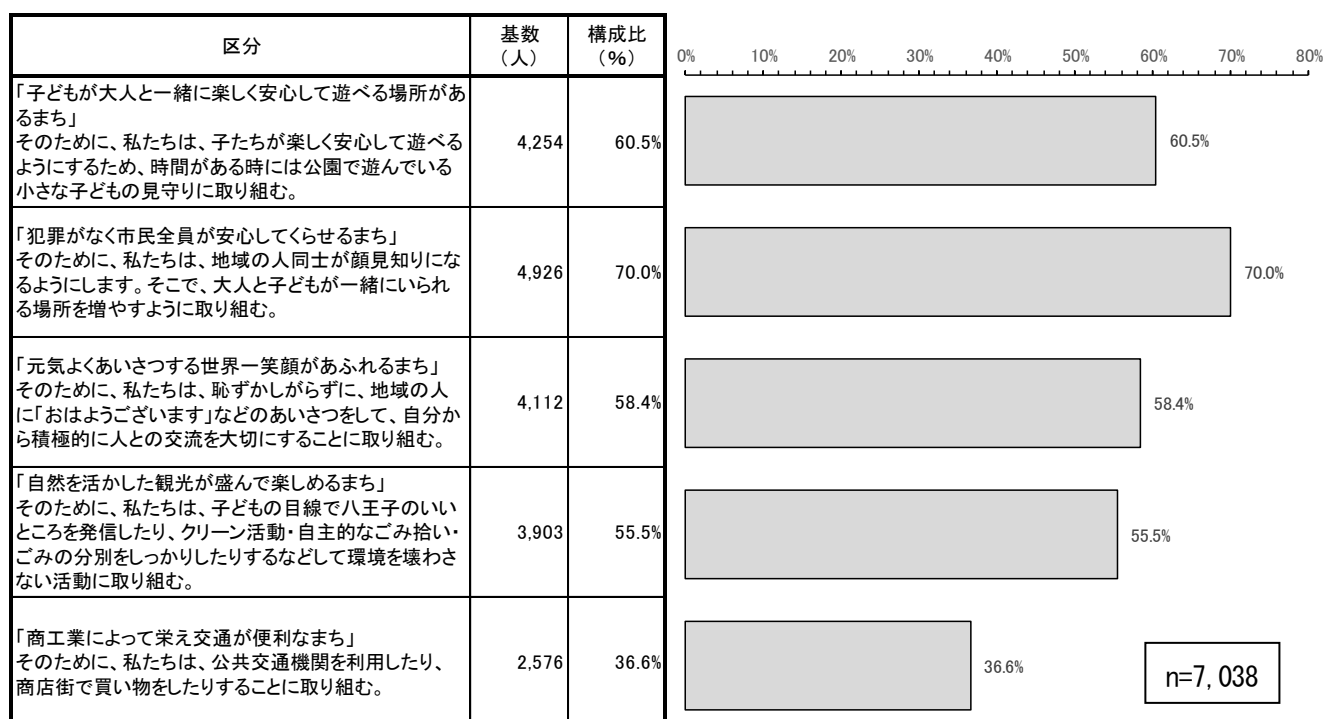
インバウンド（訪日外国人旅行）の増加について、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「期待する」（34.6%）と「どちらかといえば期待する」（26.3%）を合わせた《期待する》（60.9%）は約6割となっており、全回答者から見た《期待する》（73.0%）より12.1ポイント低くなっている。

また、「わからない」（23.5%）は2割強となっており、全回答者から見た「わからない」（10.8%）より12.7ポイント高くなっている。

学生区分別にみると、傾向に大きな違いは見られない。

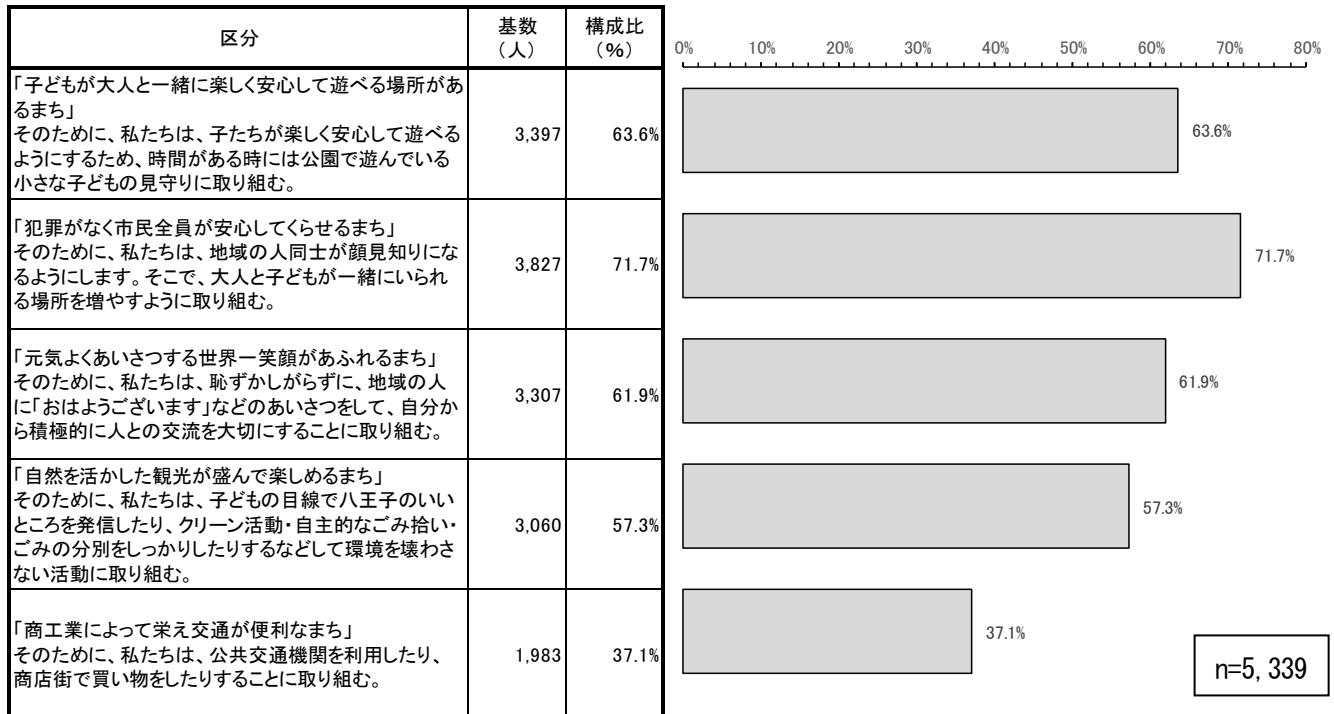
(7) 将来に向けた取組（小学生）

次の5つの考えは、八王子市内の小学5年生から高校3年生までの17名が、「未来の八王子」について話し合い、「自分たちがつくるまち」と「自分たちが将来に向けて取り組んでいくこと」をまとめたものです。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。あてはまるものを全て選んでください。



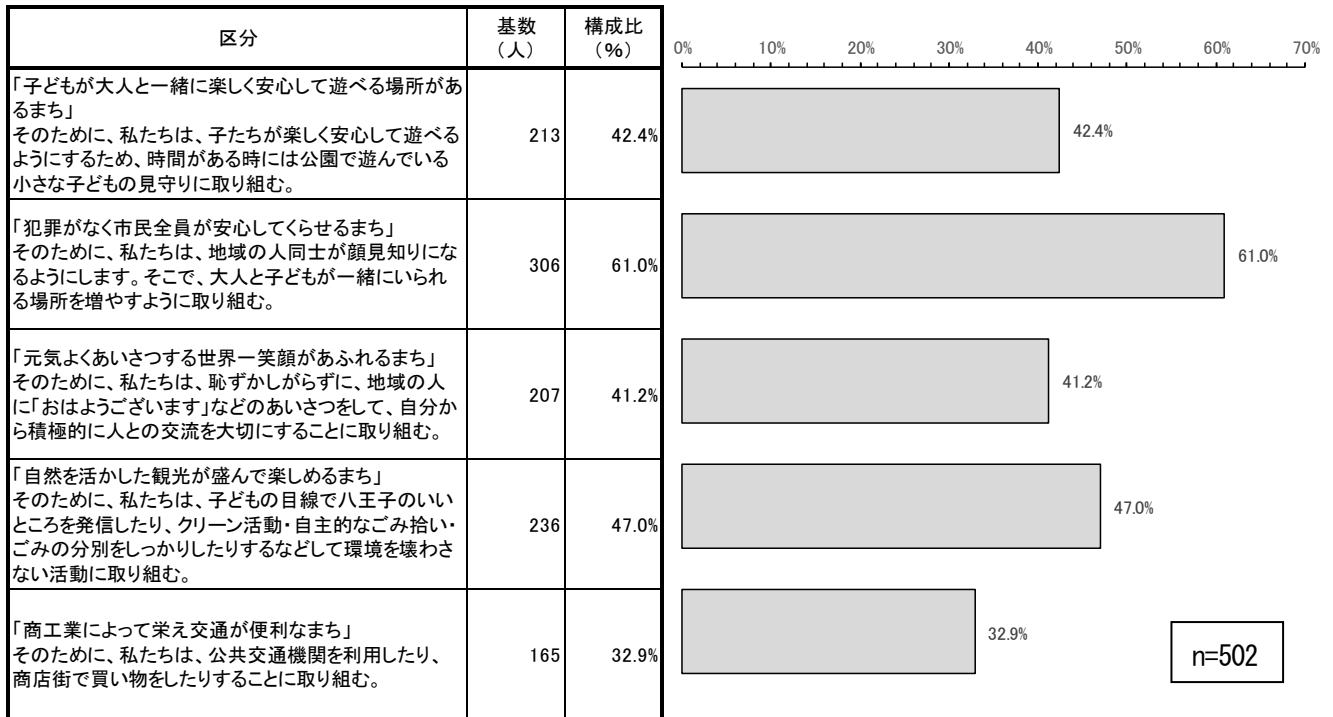
未来の八王子についての考えを聞いたところ、「犯罪がなく市民全員が安心してらせるまち」（70.0%）が最も高く7割となっている。次いで、「子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち」（60.5%）、「元氣よくあいさつする世界一笑顔があふれるまち」（58.4%）、「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」（55.5%）、「商工業によって栄え交通が便利なまち」（36.6%）となっている。

ア 設問2で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した者の内訳



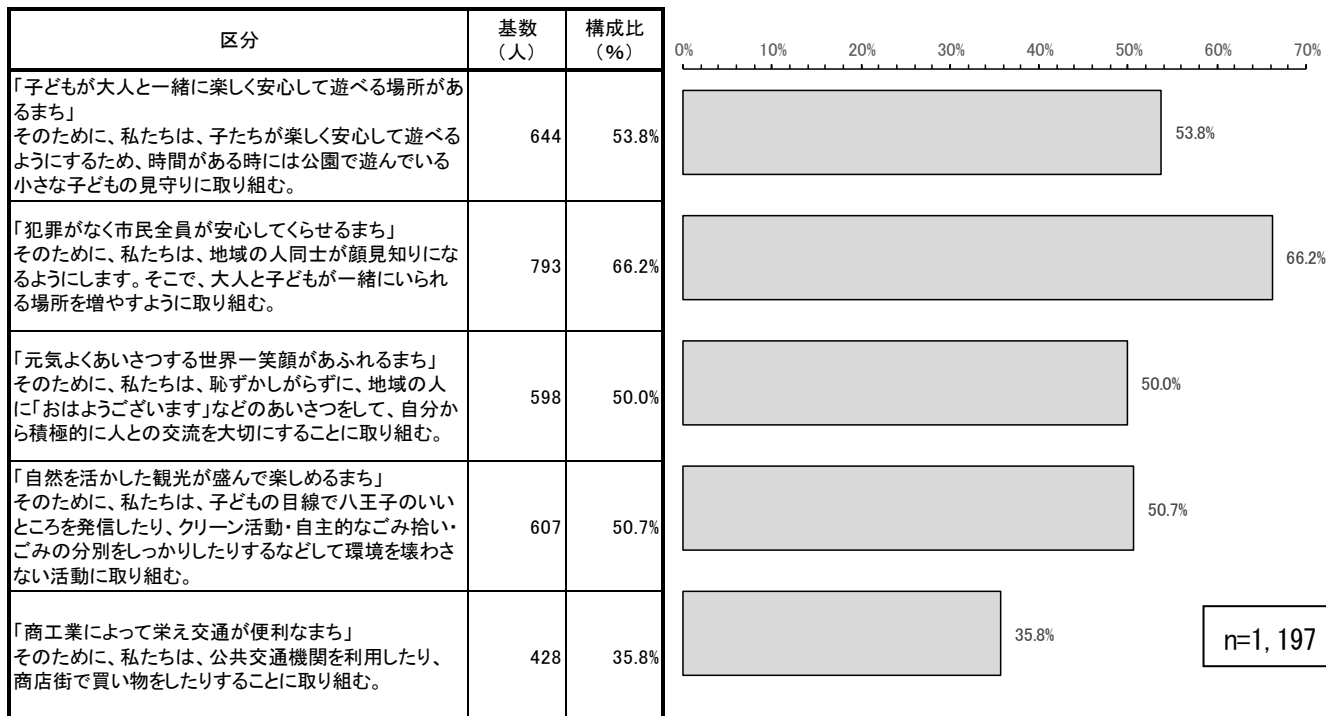
未来の八王子についての考えについて、回答者を八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた《住み続けたい》とした者に絞って見ると、「犯罪がなく市民全員が安心してらせるまち」(71.7%)が最も高く7割強となっている。次いで、「子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち」(63.6%)、「元氣よくあいさつする世界一笑顔があふれるまち」(61.9%)、「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」(57.3%)、「商工業によって栄え交通が便利なまち」(37.1%)となっている。

イ 設問2で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した者の内訳



未来の八王子についての考えについて、回答者を八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者に絞って見ると、「犯罪がなく市民全員が安心してらせるまち」(61.0%)が最も高く6割強となっている。次いで、「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」(47.0%)、「子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち」(42.4%)、「元氣よくあいさつする世界一笑顔があふれるまち」(41.2%)、「商工業によって栄え交通が便利なまち」(32.9%)となっている。

ウ 設問2で「わからない」と回答した者の内訳



未来の八王子についての考えについて、回答者を八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者に絞って見ると、「犯罪がなく市民全員が安心してらせるまち」(66.2%)が最も高く7割近くとなっている。次いで、「子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち」(53.8%)、「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」(50.7%)、「元氣よくあいさつする世界一笑顔があふれるまち」(50.0%)、「商工業によって栄え交通が便利なまち」(35.8%)となっている。

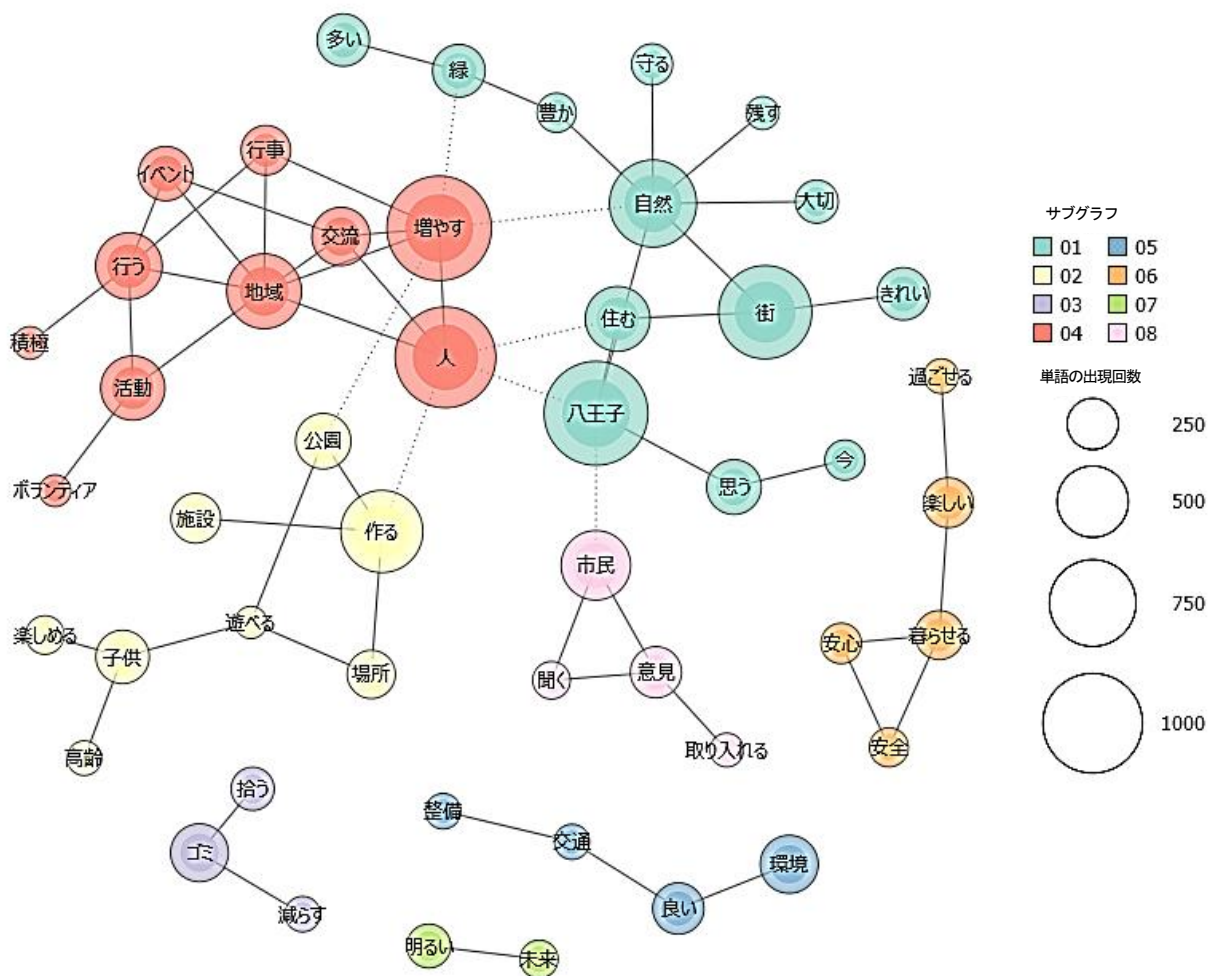
(8) 将来に向けた取組（中学生）

もし、あなたが市長だったら、八王子市の明るい未来に向けてどのようなことを行いたいですか。自由に記入してください。【自由記述】

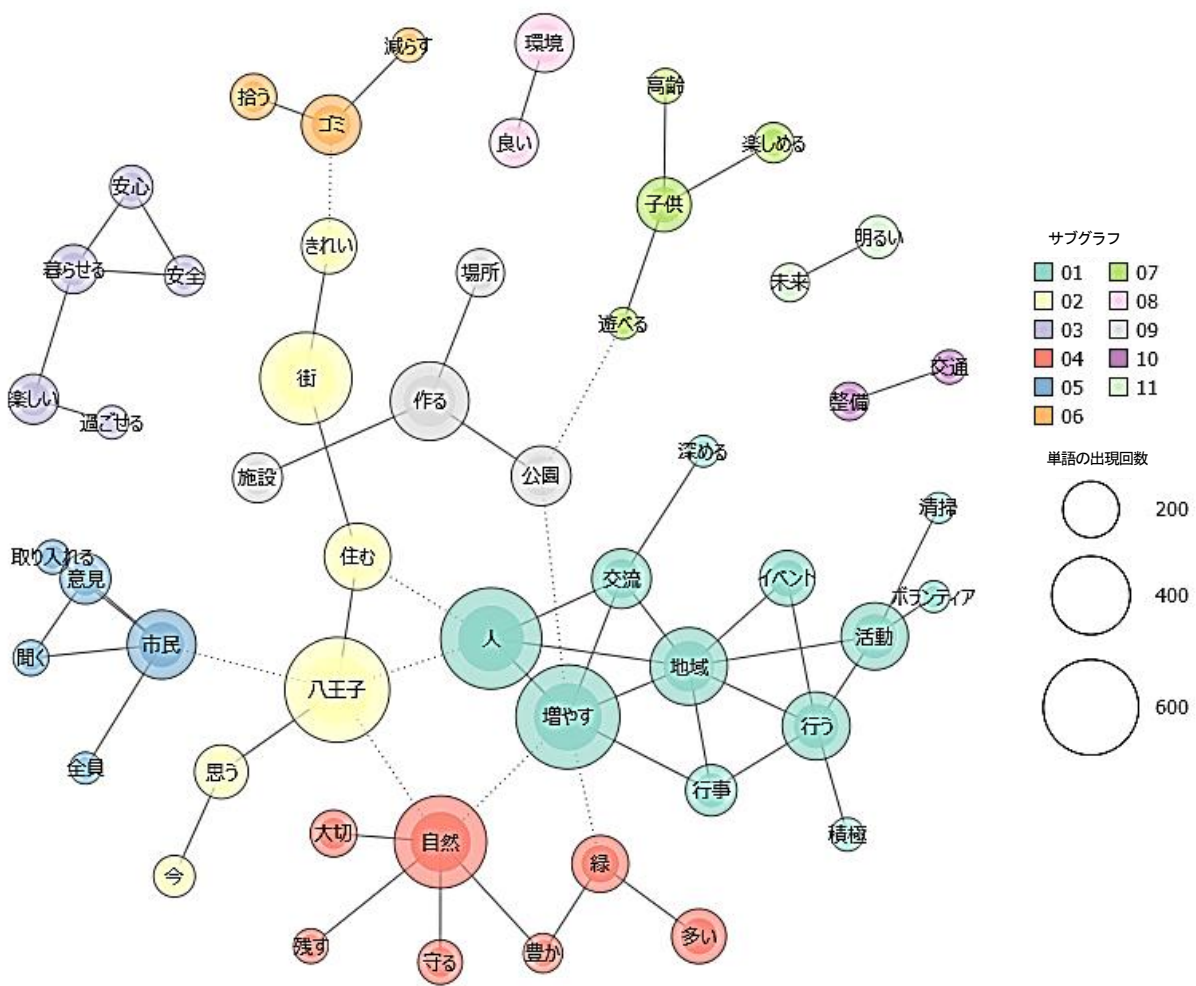
中学生に対して、市長だったら八王子市の明るい未来に向けてどのようなことを行いたいかを聞いたところ、8,061人から回答があった。その結果のテキストマイニング※を回答者全員及び「1. 定住の意思」の回答別に行うと以下のような結果となった。

※ 立命館大学 樋口 耕一 教授が公開しているフリー・ソフトウェア「KH Coder」を使用。

ア 回答者全員の結果

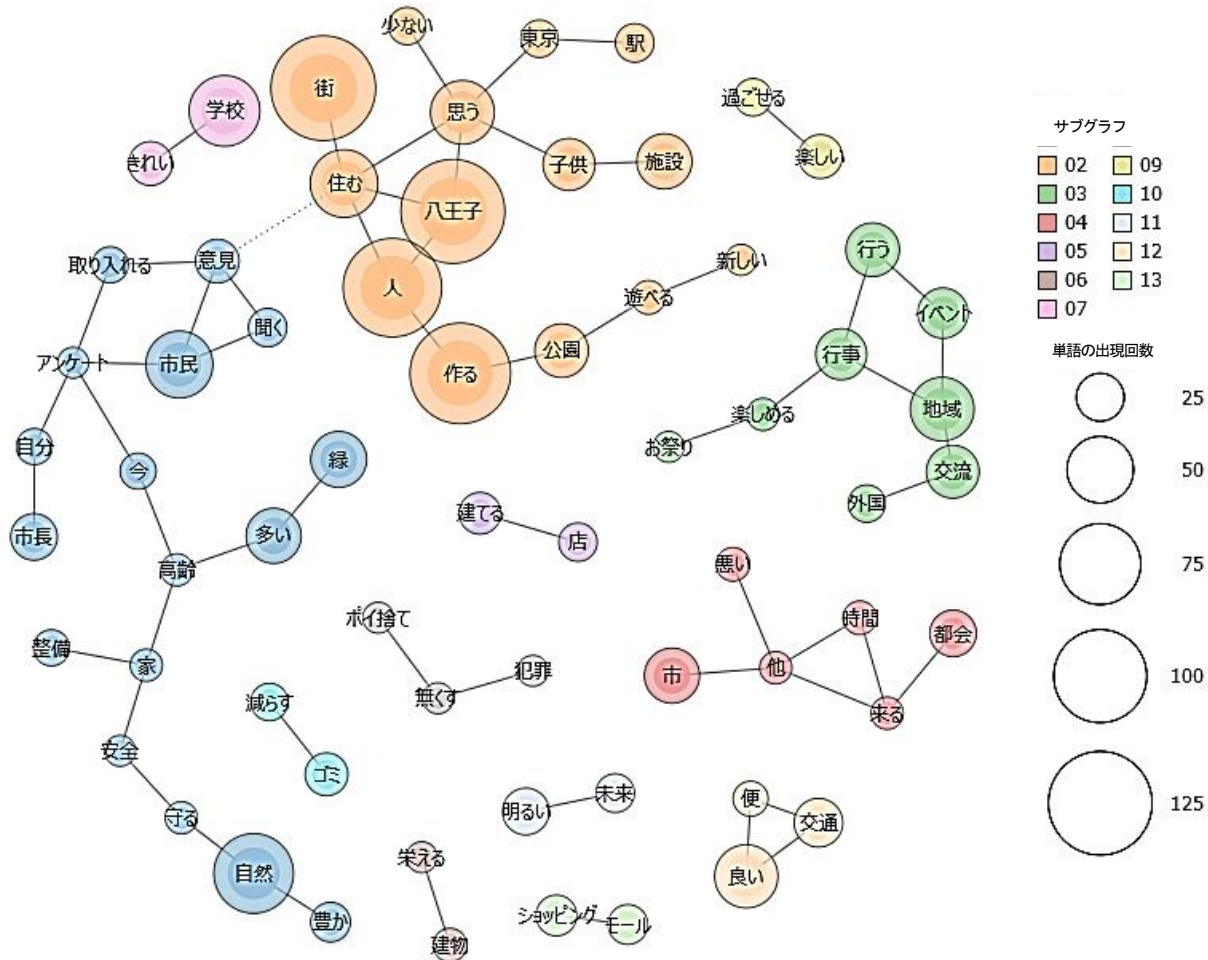


イ 八王子市に「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」とした者の結果



- 【主な意見(抜粋)。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。】
- ・八王子はとても自然が多い場所なので、観光客などが落ちていったゴミを拾うようなことをしたい（ボランティアなど）。また、八王子の良いところを他の地域に住んでいる人にも知ってもらい、八王子を身近な地域に感じてもらえるようなことをしたい。
 - ・八王子に今、住んでいる人がもっと、住み続けたいと思うように、街の景観を良くしたり、何か困っている人がいたら、地域の人達で協力したりしていく街にしていきたい。
 - ・市民全員が健康にそして平等に暮らせる、心配ごとがあったら話ができるという街をつくり、障害を患っていても、いなくても、八王子市民全員が豊かに暮らせるようにしたい。そして、困っている人がいたら市民全員が助けていられるような市にしたい。
 - ・地域の方との交流ができるような行事などを開催し、地域とのつながりが深くなるようにしたい。
 - ・緑がたくさんあるということを活かしつつも交通網などを整備しいつまでも住み続けたいと思えるようなことをする。
 - ・小学生、中学生、高校生高齢者の安全を考えて、交通の整備を行いガタガタしている道をきれいに直したい。
 - ・八王子市の明るい未来に向けて〇〇週間と名付けて、いろいろなことを地域単位で協力して行いたい。このコロナ禍の中で、お年寄りの方々は外に散歩に行くなど運動する機会が減り、そのため、コロナに残念ながらかかってしまった人も多いと思う。そういう人々を八王子市からあまりださないようにするために、健康的な生活を保てるように、コロナ対策はきちんと健康的な生活がおくれるような〇〇週間を行いたいと思う。

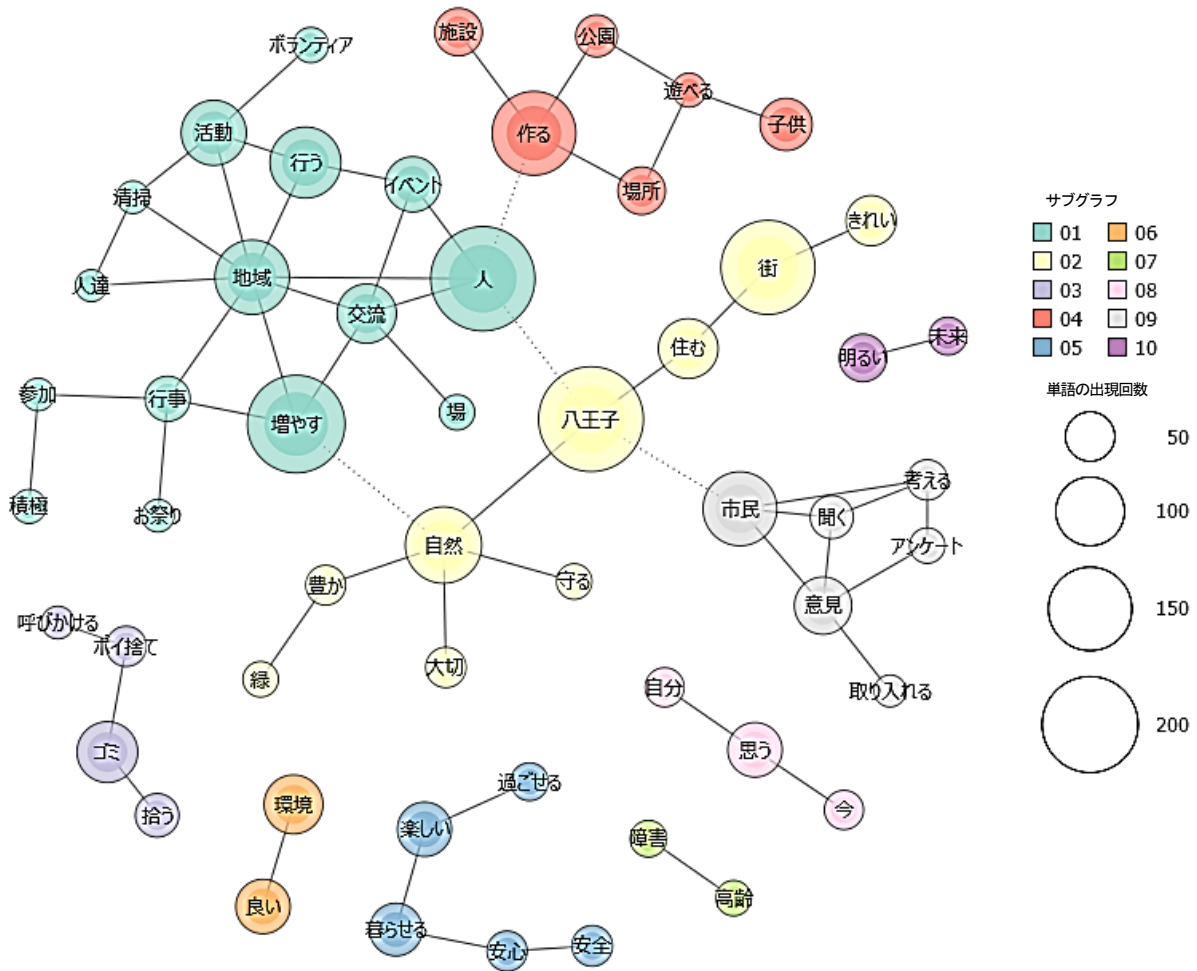
ウ 八王子市に「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた《住み続けたくない》とした者の結果



【主な意見(抜粋)。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。】

- ・八王子の広い面積を生かして、他の市にはない建造物、政策、住居などを作り、八王子にしかできない八王子独自のまちづくりを展開していきたい。
- ・八王子の悪いところを良いところに変えて、住んでいる人たちが暮らしやすい町にする。そして、住んでいる人たちみんなと仲良くする。外国の人たちを歓迎して、良い雰囲気町にもしたい。
- ・八王子は人口が多いけれど高齢者が結構多く、小学校や中学校の児童、生徒の数が少ないため、人数が多い学校と比べて、様々な人の考え方を知ることが難しく、多様な考え方を勉強しづらい。なので八王子出身のエリートの人や有名人がどんどん減っていき、PRもしにくいので、やはり子供の人口を増やしたい。
- ・市民向けのクリーン活動を開催し、八王子市がきれいな街になるようにする。また、地域の交流会などを開き、市民が仲良く、交流を深められるようにする。市長として市民に寄り添えるような人になりたい。
- ・八王子の住民やその他の地域の人に、八王子市の良さを伝えられるイベントなどを開き、それを通して八王子市の未来を明るくするための改善点を見つける。
- ・買い物がもっと便利になるようにする。スーパーマーケットはたくさんあるけど、服や本、CDなどを買う所が近くにあまり無いから。
- ・東京の八王子市から世界の八王子市にするために、駅・公衆トイレ・学校などをきれいにし、他の市や県または国から来た人が安心して時間を過ごせるようにそういった取り組みをする。また、情報発信をもっと増やしたいと思う。例えば八王子を悪い市だと思っている人も知らないのも、もっとITを駆使した活動を増やして、進んでいる市「八王子！！」と思われるような活動ができれば素晴らしいと思う。

エ 八王子市に住みたいか住み続けたくないかが「わからない」とした者の結果



- 【主な意見(抜粋)。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがあある。】
- ・八王子まつりみたいに大人から子供までみんなが楽しめるような行事を増やしながら、他者と接するのが苦手な人や外国人でも住みやすい環境な市にしたい。
 - ・市の住民は勿論、他市から来た人達でも「八王子いいな」と思えるような市にしたい。また、体の障害などを持った人達でも差別を受けずに普通の人の人と同じ生活をおくれるような市にしたい。また、環境問題の改善策を考えいつまでもこの自然を残したい。
 - ・地域の人たちと話す機会がないので、地域の人とコミュニケーションをとったり、触れ合ったりする機会を増やすために、地域の人と関われるイベントをしてみたい。
 - ・はっきりとは答えられないけれど、「若者と高齢者」、「障害者と普通の人」のように視点が違う人達の考えを聞いてその状況にあった対策や、取り組みができればいいと思う。また、もしなつたならできるだけ意見をはっきりさせて沢山のの人々にわかりやすく伝えられるといいとも思う
 - ・高齢者や、障害を抱えた人々が暮らしやすいように、交流を深めたりその人々の要望を共有したりして、どんな人も気持ちよく暮らせるような政策を考えたい。
 - ・八王子は自然がとても豊かな場所なので、環境保護などに力を入れて八王子市の良いところを伸ばしていきたい。
 - ・市民と同じ立場にいれるように地域の巡回など学校などでの講話をして近所の人みたいに気軽に意見が言える市にしたい。
 - ・八王子市のおすすめスポットや見所を、他の都道府県または市区町村に積極的に発信していきたい。さらに、これは市だけの問題ではないがお互いの価値観を認めあえる環境・社会にする。

IV 參考資料

調査票

問1：あなたは小学生ですか、中学生ですか。義務教育学校生ですか。あてはまるものを選んでください。

- 1 小学生・義務教育学校生（前期課程・4年生～6年生）
- 2 中学生・義務教育学校生（後期課程・7年生～9年生）

問2：あなたが通っている学校の名前を教えてください。

プルダウン式
問1で「1」を選択した場合小学校の一覧が
問1で「2」を選択した場合中学校の一覧が
表示される。

問3：あなたの学年を教えてください

問2で「1」と回答した
場合に表示される選択肢

- 1 4年生
- 2 5年生
- 3 6年生

問2で「2」と回答した
場合に表示される選択肢

- 1 中学1年生・義務教育学校7年生
- 2 中学2年生・義務教育学校8年生
- 3 中学3年生・義務教育学校9年生

問4：あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかといえば住み続けたい
- 3 どちらかといえば住み続けたくない
- 4 住み続けたくない
- 5 わからない

<問4で「1」か「2」を選んだ場合に表示される問>

問5：あなたが、八王子市に住みたいと思う理由はなんですか。あてはまるものを3つ選んでください。

- 1 緑・自然が多い
- 2 交通の便が良い（自宅から市内や市外に行き来しやすい）
- 3 買い物に便利（ものを買やすい）
- 4 地域の人が優しい。助け合っている。（地域・近所の仲が良い。または、地域でお祭りや行事が多い）

- 5 一人ひとりの興味や関心事を受け止めてくれる場所がある。(スポーツや文化・交流など自分がやりたいと思ったことが気軽にできる。)
- 6 歴史など古くて良いものが多い(八王子城跡や滝山城跡、八王子車人形、八王子まつりなど文化財が多い)
- 7 街並み・景観が美しい(まちの景色がきれい)
- 8 公園などがきれい
- 9 特に理由はない
- 10 その他()

<問4で「3」か「4」を選んだ場合に表示される問>

問5：あなたが、八王子市に住み続けたくないと思う理由はなんですか。あてはまるものを3つ選んでください。

- 1 緑・自然が少ない
- 2 交通の便が悪い(自宅から市内や市外に行き来しにくい)
- 3 買い物が不便(ものを買いくい)
- 4 近所と仲が良くない。または、地域でお祭りや行事が少ない
- 5 生活環境が悪い(周りの環境が悪い)
- 6 まちの様子や雰囲気がきらい
- 7 ほかに住みたいまちがある(市外に住みたいまちがある)
- 8 特に理由はない
- 9 その他()

問6：あなたは、将来の八王子がどんなまちになればよいと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 地域に住んでいるみんながつながり、協力し合えるまちになること(例：ご近所同士で助け合っている。)
- 1 期待する
- 2 どちらかといえば期待する
- 3 どちらかといえば期待しない
- 4 期待しない
- 5 わからない
- (2) 性別、障害、出身国など多様性(違い)を認め合い、みんながいいき活躍できるまちになること(例：身体が不自由な人でもやりたいことができる。)
- 1 期待する
- 2 どちらかといえば期待する
- 3 どちらかといえば期待しない
- 4 期待しない
- 5 わからない

- (3) 家族と過ごす時間と働く時間のバランスが取れていること（例：親が自分の子どもと遊ぶなど、親子が触れ合える時間が多く取れる。）
- 1 期待する
 - 2 どちらかといえば期待する
 - 3 どちらかといえば期待しない
 - 4 期待しない
 - 5 わからない
- (4) 時間や場所にとらわれない色々な働き方ができること（例：電車に乗って職場に行かなくても、家で仕事ができる。）
- 1 期待する
 - 2 どちらかといえば期待する
 - 3 どちらかといえば期待しない
 - 4 期待しない
 - 5 わからない
- (5) 病気やケガがなく体も心もずっと健康で生活できること（例：お医者さんに行くことなく、元気でいることができる。）
- 1 期待する
 - 2 どちらかといえば期待する
 - 3 どちらかといえば期待しない
 - 4 期待しない
 - 5 わからない
- (6) 日本に来る外国人が増えること（例：日本に旅行に来る外国人が増え、日本を知ってもらったり、会話をしたりする機会が増える。）
- 1 期待する
 - 2 どちらかといえば期待する
 - 3 どちらかといえば期待しない
 - 4 期待しない
 - 5 わからない

<問1で「1」を選んだ場合に表示される問>

問7：次の5つの考えは、八王子市内の小学5年生から高校3年生までの17名が、「未来の八王子」について話し合い、「自分たちがつくるまち」と「自分たちが将来に向けて取り組んでいくこと」をまとめたものです。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。あてはまるものを全て選んでください。

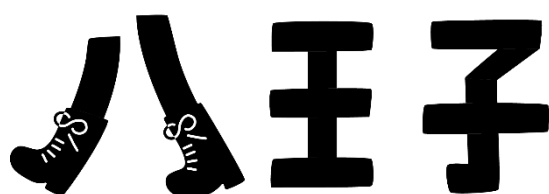
- 1 「子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち」
そのために、私たちは、子たちが楽しく安心して遊べるようにするため、時間がある時には公園で遊んでいる小さな子どもの見守りに取り組む。

- 2 「犯罪がなく市民全員が安心してくらせるまち」
そのために、私たちは、地域の人同士が顔見知りになるようにします。そこで、大人と子どもと一緒にいられる場所を増やすように取り組む。
- 3 「元気よくあいさつする世界一笑顔があふれるまち」
そのために、私たちは、恥ずかしがらずに、地域の人に「おはようございます」などのあいさつをして、自分から積極的に人との交流を大切にすることに取り組む。
- 4 「自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち」
そのために、私たちは、子どもの目線で八王子のいいところを発信したり、クリーン活動・自主的なごみ拾い・ごみの分別をしっかりとりするなどして環境を壊さない活動に取り組む。
- 5 「商工業によって栄え交通が便利なまち」
そのために、私たちは、公共交通機関を利用したり、商店街で買い物をしたりすることに取り組む。

<問1で「2」を選んだ場合に表示される問>

問7：もし、あなたが市長だったら、八王子市の明るい未来に向けてどのようなことを行いたいですか。自由に記入してください。【自由記述】

あなたのみちを、
あるけるまち。

八王子

長期ビジョン策定に向けた

小・中学生アンケート調査報告書

令和3年（2021年）9月

発行 八王子市 未来デザイン室

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号

電話 042-626-3111（代表）

042-620-7307（直通）

FAX 042-627-5939